The Article 9 Society Hiroshima
# 第九条の会ヒロシマ
会報114号
2022年9月

世話人代表　藤井純子　URL：http://9-hiroshima.org/
連 絡 先　〒734-0015　広島市南区宇品御幸1-9-26-413
TEL：070-5052-6580　FAX：082-255-6580
E-mail：fujii@jca.apc.org（藤井）
郵 便 振 替　01390-5-53097 第九条の会ヒロシマ 年会費2,000円

# 国葬反対

安倍元首相「国葬」に反対する
実行委員会 9.27 チラシイラスト

## 岸田首相は安倍国葬をやめよ！ 9•23 広島デモ

**9 月 23 日**（金・休）13：30 ～　原爆ドーム前
デモコース　原爆ドーム前　→　本通り　→　岸田文雄事務所前
主催：岸田首相は安倍国葬をやめよ！ 9・23 広島デモ実行委員会

**9.23 広島デモ　賛同者募集中**

全国・県内の皆さまへ　この市民デモは賛同者を募っています。
是非！ヒロシマ市民の行動にご賛同ください。
連絡先：odake@orange.ocn.ne.jp（小武正教）
takenaruaki@gmail.com
09047404608（久野成章）

◆　**ヒロシマ総がかり行動「3 の日行動」**
**9 月 3 日**（土）17：30 ～　広島本通り電停前
主催：ヒロシマ総がかり行動実行委員会

◆　**戦争法制定から 7 年　廃止への行動**
**9 月 19 日**（月）13：30 ～　原爆ドーム前集会
主催：戦争させない・9 条壊すな！
ヒロシマ総がかり行動実行委員会
・**広島県北**（三次消防署前広場）14：00 ～ミニ集会＆デモ
・**三原 (JR 三原駅前）でも行われます。**

ヒロシマ総がかり行動**「憲法のつどい」**（予定）
**11** 月 **3** 日（木・休）14 時～　広島弁護士会館
主催：戦争させない・9 条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会
連絡先：090-9060-1809　fujigen@abelia.ocn.ne.jp（藤元）

国会前をはじめ全国で安倍国葬反対が湧き上がっている。広島でも 9 月 19 日には戦争法制定 7 年に合わせ、県内各地の総がかり行動で国葬反対行動が計画されている。9 月 23 日には市民がデモを準備し、賛同を呼びかけている。このヒロシマ市民の呼びかけに賛同してくださることをお願いしたい。

23 年度の防衛概算要求は過去最高の 5 兆 5947 億円。岸田首相は 5 月の日米首脳会談で「防衛費の相当な増額」を米バイデン大統領に約束してしまった。防衛費 GDP ２%も NATO に合わせたかたちだ。広島県選出の国会議員でありながら核兵器禁止条約の批准をしないばかりか、原発の新増設はしないという姿勢を覆した。

だからといってあきらめないのが市民運動だ。そもそも国葬は大日本帝国憲法下で戦争へ駆り立て国威発揚のために使われた。民主主義・平和主義を希求する現憲法下ではありえない。NPT 再検討会議での最終文書でさえ決裂した。無いよりマシ文書でも次に繋がるというものだ。岸田政権の大軍拡・核兵器禁止条約を批准しない、憲法改悪路線は、8 年 8 カ月の安倍悪政を引き継いだものでしかない。

この秋「国葬」反対の行動が、岸田政権が継いでいるアベ政治を終わらせ、命を守る政治への一歩としたい。

日本国憲法公布から 76 年　**11** 月 **3** 日（水）12 時～ 13 時（予定）
**原爆ドーム前**
リレートーク、歌
平和のバナー

主　催：平和のバナーでドームを囲もう実行委員会
連絡先：080-1913-3557（佐藤）
090-4692-6667（冨樫）
070-5052-6580（藤井）

会報114号　もくじ

1　国葬反対　広島の行動にご賛同を
2　安倍国葬反対のうねりを大軍拡・憲法改悪を止める力へ　藤井純子
3　「軍事力による安全保障ジレンマ」に陥るな！…… 湯浅一郎
6　安倍元首相銃撃事件から考える「宗教と政治・教育」…… 吉川徹忍
8　もうひとつの“水平社宣言” その２ …… 笹川俊春
10　8.6新聞意見広告2022報告とお礼 石岡真由海・島村眞知子・西浦紘子
11　購読者からのメッセージ　12　賛同者からのメッセージ
19　活動報告　20　お知らせ・後記

# 安倍国葬反対のうねりを大軍拡・憲法改悪を止める力に

**藤井純子**（第九条の会ヒロシマ世話人代表）

## 安倍国葬に反対する理由

まず根拠法がない。また民主主義・平和主義に反する。明治時代の国葬は、人を神格化し、人々を国威発揚＝戦争に向かわせるものだったから。そして閣議決定だけで莫大な国費を使うのは国会無視である。弔意強制は信教の自由、思想の自由を侵す。統一協会や日本会議（神社本庁）などとの関係など政教分離違反も甚だしい。（政教分離：詳細は吉川さん P6-7）

安倍首相がやってきたことをみて敬意を表す人がどれだけいるだろうか。秘密保護法、安保法（戦争法）、共謀罪、集団的自衛権行使容認など民主主義・平和主義を破壊する法律を数に任せて制定した。国会で 118 回もウソの答弁で、モリ・カケ・サクラなど疑惑が曖昧にされている。歴史を書き換え、近隣諸国との関係が悪化したことは間違いない。夫婦別姓を認めず、格差拡大、排外主義など個・人権・命を大切にしない、市民の声を聴かない政治が今も続いている。2 億 5 千万の予算、警備を含めば 40 億とも言われ、どの世論調査をみても国葬反対が半数以上だ。コロナ感染拡大の今、そのお金を「医療崩壊・生活困窮などにまわせ」など「＃国葬反対」は広がっている。

**世論調査での国葬への賛否**（7月末以降）

| | | 賛成 | 反対 |
|---|---|---|---|
| 共同通信 | 7月30、31日 | 45.1% | 53.3% |
| 読売新聞※ | 8月5～7日 | 49 | 46 |
| NHK※ | | 36 | 50 |
| 時事通信 | 8月5～8日 | 30.5 | 47.3 |
| 毎日新聞など | 8月20、21日 | 30 | 53 |
| 産経新聞・FNN | | 40.8 | 51.1 |

※読売とNHKの設問は、国葬実施を決めた政府判断の評価

賛成する人に聞きたい、実施も費用も閣議決定でいいの？　臨時国会を召集せず野党との論戦もない、丁寧な説明もしない、何にもしない岸田首相を信頼するの？　松野官房長官は国葬反対の声に押され「強制しない」と繰り返し、弔意表明を求める閣議了解を見送った。しかし国葬はもともと「故人に対する敬意と弔意を国全体で表す儀式」であり強制でしかない。心の自由を奪われていいの？

## 反対行動が全国津々浦々から

宗教者、学者、弁護士やたくさんの市民グループの国葬反対の声明や裁判が湧き上がっている。「安倍元首相の『国葬』に反対する実行委員会」が立ち上がり、北海道から九州まで全国津々浦々、拡がりつつある。署名や集会・デモ・スタンディングなど活発に反対行動が次々と企画され報告が続々。国葬賛成・反対のシール投票も恐れずに行われ、反対が圧倒的らしい。

内田雅敏弁護士から 1989 年の昭和天皇「大喪の儀」で来日予定の西ドイツ・ヴァイツゼッカー大統領に「昭和天皇の評価は日本社会は決して賛美一色ではない」と手紙を出し、大統領署名入り返書がきたことを聞いた。今回も来日する各国首脳に対し手紙を書くことができないものだろうか。期待が膨らんでいる。

広島も行動など様々に計画している。また県知事や県議会議長が国葬に派遣されると県議会に支障をきたし、費用がかかると住民監査請求の準備が、河井疑惑・教科書など裁判の経験を活かして始められた。まずは是非！ 9.23 広島デモにご賛同を。

## 脅威はどっち？

ここのところ台湾近海での中国の軍事演習や朝鮮のミサイル発射実験報道ばかりが続く。しかし米軍はその間、毎年のフィリピン軍との合同演習を過去最大規模で行っていた。

木元茂夫さんのフェイスブックによると米軍・自衛隊は…

- 5 月 24 日　関東南方海域で海自と合同訓練
- 6 月 4 日　沖縄南東海域で韓国海軍と合同軍事演習
- 6 月 12 日　グァム周辺海域で米軍単独の演習に参加。
- 7 月　南シナ海に展開、7 月 30 日フィリピン海へ
- 7 月 30 日 31 日　与那国島周辺海域で中国海軍の艦艇監視

今回の米海軍と自衛隊はヨーロッパ各国海軍と大西洋共同訓練を重ねるなど、自衛隊の活動範囲はもはや世界大…

今も米軍ほか他国軍との合同演習が続いている。これらは中国や朝鮮にとっては脅威でしかない。戦争は始めれば勝者はなく終わらせることはなお難しい。脅しよりも外交努力をすべきだ。

## 自衛隊が憲法に明記されると…

2014 年以来、自衛隊は海外で他国軍と共に武力行使をする実力組織になった。その自衛隊が憲法 9 条に明記されるとどうなる？といろいろ読んで気にかかることは…　憲法に「国と国民を守るために自衛隊を保持する」とでも書かれるのか？　防衛費もまだ増える？　自衛官募集がより積極的に行われない？　自治体が高校生名簿提出を拒否できるの？　徴兵制と言わなくても輸送など民間との協力もあるだろうし、お金に困っている若者の経済的徴兵がもっと進むかもしれない。すでに音楽隊が町内や学校へ演奏に行ったり吹奏楽部との共演が増えている。また憲法に認められれば自衛隊の関係者＝軍人として、戦前のように学校で国防や安全保障の授業も怖ろしいが無きにしも非ずだ。決してあってはならない。いつの間にか、ではもう遅い。

## 攻められたらどうする？ で対話を

私たちは「中国・朝鮮は脅威だ、攻められたらどうする？」この質問に悩まされてきた。しかし最近、これにどう対抗するか、いろいろなアイディアを出しあい、あちこちで「対抗集」も見られるようだ。広島でも参院選前の市民連合の集会で、各野党がそれに集中し答えていた。どこが攻めてくる？　ナンのために？…　中国や朝鮮にとっての脅威は、日・米・韓ではないのか？　衝突が起きないように外交力が重要だ。それは街角でも、日々の暮らしの中でも、深刻なコロナ事態を乗り越えて、対話が生まれてきた。こんな積み重ねこそ希望だ。

第九条の会ヒロシマ 30 周年の今年も 8.6 新聞意見広告を掲載することができた。しかしウクライナの戦争は終わらないし日本政府には停戦への努力が見えない。NPT 再検討会議が 7 年前に続き合意に至らなかった。岸田首相は核保有国と非保有国の橋渡しをしたのか。残念で仕方がないし自身の非力を思う。それでも今、自分に何ができるか考え続け、コミットしていきたい。

- ウクライナ危機に乗じた軍拡は許されない -

# 「軍事力による安全保障ジレンマ」に陥るな！

## 北東アジアの平和と非核化を考える

**湯浅一郎**（ピースデポ代表）

ウクライナでは、今も戦禍の中で多くの住民やウクライナ・ロシア双方の兵士が傷つき生命を失っている。一刻も早い停戦とロシア軍の撤退を具体化せねばならない。加えてこれを機に世界的に軍拡に拍車がかかっており、日本も例外ではない。ここでは北東アジアの平和と非核化について考える。

## （1）北東アジアにある２つの軍事的対立構造

### １．米ソ冷戦構造が残り、分断されたままの朝鮮半島＝朝鮮戦争は終わっていない

朝鮮半島は 38 度線に沿った非武装地帯 (DMZ) を境に分断されたままである。原因は 1950 年 6 月に始まった朝鮮戦争だ。DPRK( 朝鮮民主主義人民共和国 ) と連合国 ( 中心は米国 ) との戦争。1953 年 7 月 27 日、双方は朝鮮戦争の停戦協定を締結 ( 連合軍と DPRK、中国 ) し、そのまま今に至っている。DPRK はいつ米国につぶされるかわからないという恐怖の中で 69 年たつ。2003 年、DPRK は、フセイン政権がブッシュ政権に一方的につぶされた現実を目の 当たりにして核開発に走った。

DPRK は 2022 年になり 16 回の弾道ミサイル発射実験を行った。これらは「弾道ミサイル技術を用いたいかなる発射も認めない」とする国連安保理決議に反する。しかし、この基準は極めて差別的であり、これをそのまま他国に適用すれば、日本の人工衛星発射もできないことになる。

### ２．中国の海洋進出で東シナ海、南シナ海で米中が軍事態勢を強化し、にらみあっている .

尖閣諸島周辺海域における中国公船による領海侵入事案が続き、中国は、大陸棚境界の海域で一方的な資源開発を継続。南シナ海で大規模かつ急速な拠点構築及びその軍事目的での利用など、現状を変更し緊張を高める一方的な行動を推し進め、2017 年の段階で中国が完成した施設面積は約 29ha。

中国の主張は『国防白書』（2019 年）によれば、

・中国の軍事力は、一貫して防御的な国防政策に基づいている。

・海洋権益を重視する。南シナ海や釣魚島（尖閣諸島）は、中国固有の領土とする。

・台湾問題は中国にとって国内問題として核心的利益がかかる課題

これに対応すべく米国は、同盟国を巻き込み軍事的な中国包囲網の構築を急いでいる。日本は、安保法制下で日米軍事一体化と多国間軍事協力を推進している。

**a）「専守防衛」を超える既成事実の数々を積み上げている。**

・護衛艦「いずも」型の空母化。垂直離着陸ステルス戦闘機 F35B を搭載可能に改造。

・スタンド・オフ・ミサイル（遠隔攻撃力）の購入と配備→敵基地攻撃能力の保有

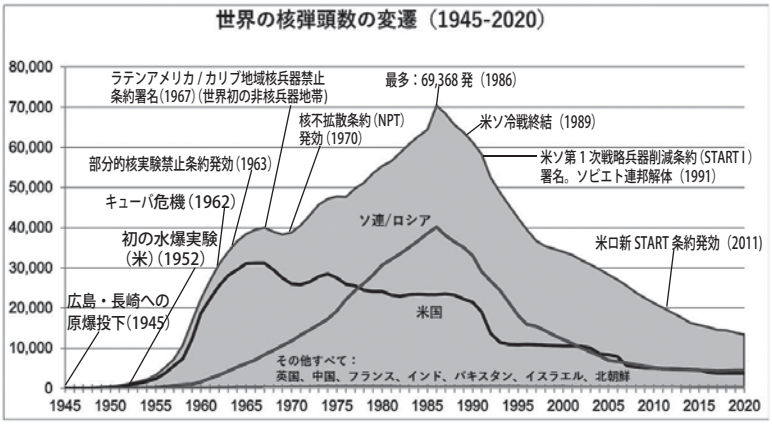
**b) インド太平洋派遣訓練の日常化（2018 年～）**

「いずも」型護衛艦を中心に約 2 か月半、インド洋から西太平洋に至る広い海域で日米共同演習などを実施し、砲艦外交が始まった。

## （2）「軍事力による安全保障ジレンマ」に陥ったままの北東アジア

### １．軍事力による安全保障ジレンマという罠

このまま軍事力による安全保障の思考に基づき、相互に軍事態勢の強化を進めれば、結果として際限のない軍拡競争を繰り返す悪循環にはまり込む＝これを「軍事力による安全保障ジレンマ」という。仮に敵対的な関係にある「A」「B」という両者がいたとする。A が軍事力による安全保障を強化しようとする。それは、他者である B の安全を侵害することになり B はそれに対抗して、自分の安全を確保するために、それより強い軍事力を持つことを始める。それを A が見ていて、それよりも強い軍事力を開発する。そのためにはお金が必要だ。こういうことを 10 年、20 年繰り返しているうちに、相互の不信が、核軍拡競争を生み出し、さらに不信と憎悪を増幅する。その先にある未来は、止め度のない軍拡と終わりが見えない対立だ。政府の方針は、この悪循環にはまり込む道を選ぶこと。この構造は「核弾頭の変遷」に典型的に見えている。




ハンス・クリステンセン（FAS：全米科学者連盟）のブログをもとにNPO法人ピースデポが作成。

主要 20 カ国の軍事費を示したのが下の表だ。米国と中国で世界の 52%を占める。「世界の軍事費」は、人間の安全保障に係る国連関係の総額の約 100 倍。この構図を変えねばならない。

**主要20か国の軍事費（2020年）**

| 順位 | 国名 | 軍事費（10億米ドル） | 比率（%） |
|---|---|---|---|
| 1 | 米国 | 778 | 39 |
| 2 | 中国 | 252 | 13 |
| 3 | インド | 72.9 | 3.7 |
| 4 | ロシア | 61.7 | 3.1 |
| 5 | 英国 | 59.2 | 3.0 |
| 6 | サウジアラビア | 57.5 | 2.9 |
| 7 | ドイツ | 52.8 | 2.7 |
| 8 | フランス | 52.7 | 2.7 |
| 9 | 日本 | 49.1 | 2.5 |
| 10 | 韓国 | 45.7 | 2.3 |
| 11 | イタリア | 28.9 | 1.5 |
| 12 | オーストラリア | 27.5 | 1.4 |
| 13 | カナダ | 22.8 | 1.1 |
| 14 | イスラエル | 21.7 | 1.1 |
| 15 | ブラジル | 19.7 | 1.0 |
| 16 | トルコ | 17.7 | 0.9 |
| 17 | スペイン | 17.4 | 0.9 |
| 18 | イラン | 15.8 | 0.8 |
| 19 | ポーランド | 13.0 | 0.7 |
| 20 | オランダ | 12.6 | 0.6 |
| 世界総額 | | 1981 | - |

### ２．冷戦終結を導いた「共通の安全保障」（Common Security）による平和の枠組みへ

・ここで「共通の安全保障」という概念を頭に入れておきたい。

1982 年、「軍縮と安全保障に関する独立委員会」が国連事務総

長に提出した『共通の安全保障－核軍縮への道標』なる報告書で提起した考え方で、いくつかの原則がある。

・「すべての国は安全への正当な権利を有する」認識の共有。
・軍事力は国家間紛争を解決する正当な道具でないとの相互認識。
・国の政策表明には自制が肝要、安全保障は軍事的優位で達成されない。

ソ連のゴルバチョフ書記長がこの概念を採りいれて、80 年代後半のわずか 5 年で米ソ冷戦を終わらせた。冷戦終結を導いたと言える。ベルリンの壁崩壊とソ連の崩壊（ワルシャワ条約機構の解散）やＥＵの形成、そして 1995 年欧州安全保障協力機構という地域的安全保障協力機構を作る。その結果、欧州では戦争は起こらないはずだった。そこにウクライナ危機が起きた。欧州に教科書はない。

## （3）ロシアのウクライナ侵略を前に

### 1．国際合意をことごとく破ったロシア

2022 年 2 月 24 日、プーチン大統領がウクライナ東部ドンバス住人をジェノサイドから守るための「特別軍事作戦」を宣言し、NATO の東方拡大でロシアの「レッドラインを越えた」とロシアの防衛を理由に侵攻を正当化した。しかし

①国連安保理の常任理事国が、他国の主権を無視し領土や政権の変更を武力で強制することは、国連憲章第 2 条第 4 項を初め第 2 次大戦以降積み重ねてきた国際法や国際合意を破るものだ。（国連憲章第 2 条４項「すべての加盟国は、その国際関係において武力により威嚇または武力の行使をいかなる国の領土保全、または政治的独立に対するものも・・慎まなければならない。」

②2 月 27 日、プーチン大統領は、国防相にロシア軍の核抑止力部隊を「特別戦闘態勢にするよう」命じた。威嚇の側面は強いにしろ、1 月、ロシアを含む NPT 上の核兵器保有 5 か国は共同声明で「核戦争に勝者はなく、決して戦ってはならない」と誓約したばかりであることと明らかに矛盾する行為だ。

③ロシアは 24 日､チョルノービリ（チェリノブイリ）原発を占拠。3 月 4 日には稼働中のザポリージャ原発を砲撃、制圧。戦場で稼働原発を攻撃することは、原発への攻撃を禁じたジュネーブ条約第 1 追加議定書 56 条に違反する戦争犯罪である。

### 2．冷戦終結 30 年を振り返り「共通の安全保障」を見つめ直す

米ソ冷戦終結に至る過程で依拠した「共通の安全保障」はどこに行ってしまったのか。冷戦終結から 30 年が経過し、相互の不信、対立と軍拡競争が再燃し冷戦時代への揺り戻しが来ている。このままでは 1995 年成立の欧州安全保障協力機構（OSCE）の努力が失敗したことになりかねない。

冷戦終結と同時に、ワルシャワ条約機構はすぐになくなったが、北大西洋条約機構 NATO は拡大、強化した。米国は、冷戦終結への過程でロシアが経済危機と混乱に陥り弱体化したことに乗じて、ロシアをあなどり、ロシアの安全保障上の懸念や要求に真剣に向き合うことはなかった。ＯＳＣＥの機能を強化し、ロシアを排除しない形での安全保障体制を築くことができたはずだが、そうした方向には進まなかった。

その結果、相互の不信、対立と軍拡競争が再燃し、ロシアの不満が鬱積していった。ここには、「すべての国は安全への正当な権利を有する」ことを原則とする「共通の安全保障」が機能していない。プーチンがウクライナ侵略に踏み切った背景はここにある。ロシアが悪いことはそのとうりだが、ロシアをただ一方的に非難するだけではすまない深刻な事態。この際、冷戦終結後の 30 年間のありようを真摯に振り返り、なぜこのような事態に至ってしまったのかを検証してみるべきだ。

同時に＜軍事力による安全保障ジレンマ＞を解くために「共通の安全保障」は、これからも価値ある概念であることを再確認すべきである。この作業を怠るとウクライナ危機などに乗じた軍拡の動きに対応できないことになる。

### 3．ウクライナ危機を軍事同盟強化や軍拡に向かう契機にさせてはならない

加えて、これを機に軍事同盟の強化や軍事費増の動きが世界的に強まることが懸念される。

・ドイツは国防費を GDP 2 %以上に増やすとし､国防政策転換を表明。
・フィンランド、スエーデンが NATO 加盟を表明した。
・日本では、安倍元首相や維新の会が米国との核共有議論を主張。欧州では 100 発程度米国の戦術核がドイツなど 5 か国に配備されているが、これは冷戦時代の遺物。そもそも日本国内に米国の核兵器を配備し、共有するということは、非核三原則を放棄し、非核兵器国への移転を禁じた NPT 第二条に反する主張。仮にそのような選択をすれば、日本は NPT から脱退せねばならず、極めて非現実的。
・最も警戒すべきは、自民党総務会が、「反撃能力」に名前を変えて敵基地攻撃能力の保有、5 年をかけて防衛費を GDP 2 %へ大幅増、さらには憲法改悪を提案していることだ。
・NATO 首脳会議に日本、韓国も招待されトップが出席した。
・環太平洋合同演習「RIMPAC2022」（6.29-8.4）史上最大規模の 26 か国が参加。自衛隊は、第 2 の勢力で空母化が進む「いずも」を派遣。同演習は 1971 年から始まり、日本は 1980 年から参加←1978 年に旧ガイドラインの締結。1980 年に洋上給油の補給艦「さがみ」を配備（呉）。

## （4）北東アジア全体の平和のビジョンをどう構想するか？

### ―「朝鮮半島の完全な非核化と平和」が東アジア平和ビジョンのきっかけになる？

これらの経緯を踏まえ、東アジア全体にわたる平和のビジョンをどう構想するのか？この課題を「共通の安全保障」によっていかに解いていくのか。ウクライナ危機によりヨーロッパに模範はない。

大きな前進は得られなかったが、2018 年の南北、米朝首脳合意に基き朝鮮半島の非核化と平和を目指す取り組みが始まった。

### 1．依拠すべき 2018 年の 2 つの歴史的な首脳宣言

・2018.4.27 南北板門店宣言：前文で「朝鮮半島にはもはや戦争はなく､新たな平和の時代が開かれた」との認識のもと､「南北は､（朝鮮戦争の）終戦を宣言し、休戦協定を平和協定に転換し、恒久的で強固な平和体制構築」をめざし、「完全な非核化を通じて核のない朝鮮半島を実現する」目標を確認。この目標実現には、米国の合意が不可欠である。
・2018.6.12 シンガポール米朝共同声明：重要なことが前文に「トランプ大統領は DPRK に安全の保証を提供することを誓約し、金正恩委員長は朝鮮半島の完全な非核化に取り組む決意を再確認」。

バイデン政権は、半年間の見直しを経て、21 年 5 月 21 日、米韓首脳会談後の共同声明で「2018 年の板門店宣言やシンガポール共同声明など従前の南北、及び米朝首脳会談に基づく外交と対話は、朝鮮半島の完全な非核化と恒久的平和の確立を達成するために不可欠であるという共通の信念を再確認する。」としている。

### 2．この合意を完全に履行していった場合の到達点は何か？

**①南北 2 国と米中ロの 5 カ国で朝鮮半島非核兵器地帯条約を作る。**その際、日米同盟や日本の核武装への懸念などを考えると日本も参加した北東アジア全域の非核兵器地帯へ至る可能性が出てくる。日本は北東アジア非核兵器地帯構想をもってこれに加わるべきだ。（参考：非核兵器地帯＝一定の地理的範囲内において核兵器が排除された状態を作り出すこと）それには 2 つの要件がある。第 1 は、地帯内国家が、核兵器の開発・製造・配備を禁止する。第 2 は、周辺の核兵器保有国が、地帯内国家に核兵器の攻撃や威嚇をしない誓約をする（＝消極的安全安全保障）。

南半球のほとんど全部が非核兵器地帯だ。地球の南半分の市民は「非核の傘」の下で暮らしている。そのどれもが、平均 9 年以上の歳月をかけ、一定の困難を克服して成立している。

**②合意履行のもう一つの到達点は、朝鮮戦争を終結させ、唯一残る冷戦構造を終わらせること。**

ところで核兵器禁止条約（以下 TPNW）が始動しているが、政府は、賛成しようとしないまま。これに対し日本の約 7 割の市民は、「日本は TPNW に参加すべき」としている（世論調査）。この想いを活かすために必要なこと＝政府に核抑止依存政策を変えるよう求めることだ。その答えは北東アジア非核兵器地帯を打ち出すことである。

### 3．北東アジア非核兵器地帯構想を打ち出せ

これまでにどこかの国が正式に北東アジア非核兵器地帯構想を提起したことはない。NGO の様々な構想があるが、その一つがピースデポの「3＋3」構想だ。朝鮮半島の南北 2 つの国と日本を合わせた 3 か国で非核兵器地帯を形成し、米中露の「3 か国」が 3 か国に対して消極的安全保障を誓約する。6 か国協議のような形での交渉が始まる。

日本には、1794 の県市区町村があるが、その 92%、1653 自治体が非核宣言自治体。これらの地方自治体と連携し北東アジア非核兵器地帯を作ろうと行動することが可能。

- 地方議会が「日本は TPNW に署名、批准すべき」との意見書を上げる活動に取り組む。
- 既に 610 自治体議会（21.12.31）と 7 県議会（岩手県、長野県、三重県、滋賀県、広島県、宮崎県、沖縄県）が意見書を採択している。
- 全市区町村 1747 の過半数を超えれば、政府への大きな圧力になる。（広島県 21。長崎県 12。「ピース・アルマナック 2022」所収。）北東アジア非核兵器地帯条約の締結を契機に、北東アジア全体の多国間による平和ビジョンを構想していくことは十分ありうる。

一つの非核兵器地帯条約ができるまでには、俎上に載ってから 10 年とかの単位で時間がかかる。その間に様々な次元での多国間協議が繰り広げられる。そのプロセスの中で相互に信頼醸成が生み出され、地域の平和ビジョンを議論する機会ができていく。非核兵器地帯を作るプロセスを通じて米中対立や日中・日朝の懸案事項に関する外交交渉を切り開いていく要素はありうる。

## （5）おわりに

米ソ冷戦終結から 33 年、朝鮮戦争の停戦から 69 年が経つ今も、朝鮮半島で残る冷戦構造をどうなくしていくのかが北東アジアにおける最大の外交的課題である。虚構としての米中の「新たな冷戦」に惑わされてはならない。米中の新冷戦は、「軍事力による安全保障ジレンマ」という悪循環を作りだすだけで、結果として核軍拡を促すことにしかならない。「軍事力による安全保障ジレンマ」をいかに克服するのかが問われているという認識を共有しよう。それを解くうえで、「共通の安全保障」（Common Security）という概念の有効性を確認し、それを外交政策にしていくべきである。

北東アジアでそれを追求するにあたり、2018 年の 2 つの首脳合意は依拠すべき歴史的意義がある。朝鮮半島の 2 つの国が「生きる場を戦場にしない」と合意し、協力していくことを始めた。4 年たって膠着状態のままだが、それを活かせるかどうかはこれからの取り組み次第だ。北東アジアの平和に関わる枠組み作りの突破口は 2 つの首脳合意を踏まえての北東アジア非核兵器地帯（NEA-NWFZ）構想を切り口とした取り組みである。それは憲法 9 条を外交政策として具体化する道である。

ロシアのウクライナ侵略という事態は、冷戦終結以来の 30 年、1945 年、第 2 次世界大戦、さらに 1918 年の第 1 次世界大戦以来の 100 年強の経験から人類が作ってきた国際人道法、国際人権法、ジュネーブ条約第 1 追加議定書、国連憲章といった合意を包括的に知っていく機会にすべきだ。

### 地上のありようを地球の外から見る視点が必要だ

この星には、知的生命体を含めて名前があるものだけでも約 180 万種、記載されてないものを含めれば 3000 万種の生物が共存。このように豊かな生物多様性を持つ星は、我が太陽系には地球以外にない。地球は太陽系のオアシス。さらに 1000 億の太陽で構成される銀河系においても地球のような生物多様性を有する星を持つ太陽系はやたらあるわけではない。我が太陽系は、銀河系の中のオアシス。つまり地球は、銀河系のオアシスの中のオアシスなのである。

その意味で生きていること自体が奇跡。地球に展開されている自然と生物の相互作用、食物連鎖関係、そして人間が作っている社会は、宇宙が作りだした壮大な芸術と言ってもいい。その星で、国家間の争いが絶えず、相互に不信と憎悪を拡大させる状況が続いている。今こそ、地球上に展開する知的生命体を含めた生物多様性が存在している奇跡を認識し、それに感謝し、共に生きていく方法を産み出さねばならない。そもそも、今、人類には生物多様性の低下や気候危機への対処という喫緊の課題が突きつけられている。これは、18 世紀後半からの産業革命に伴い、過剰な開発行為によって、多様な生物の生きる場を奪ってきた行為の結果であり、人類は、今、同族同士が殺し合いをしている場合ではない。市民が、これらを認識し、世論を広げていく努力を進めよう。

（本稿は、2022 年 8 月 5 日の「8.6 ヒロシマ平和へのつどい 2022」記念講演を基に編集部が作成）

# 安倍元首相銃撃事件から考える「宗教と政治・教育」
## ― 旧統一協会と政権 ―

**吉川徹忍**（僧侶　元教員　平和・国際教育研究会『宗教と教育』部会）

### はじめに

7 月 8 日の安倍晋三元首相銃撃事件で明らかになったのは、山上徹也容疑者（41）供述による宗教団体「世界平和統一家庭連合（旧統一協会、以下「統一協会」）」。彼は母親が入信後に破産するほど多額の献金をして家庭が崩壊したため同協会への恨みを持ち、つながりが深い安倍元首相を狙うことにしたという趣旨の供述をしている。もちろん、いかなる理由であれ殺人は絶対許せないことが前提だ。

容疑者の犯行動機の背景から、日本の「宗教と政治・教育」状況が顕わになった。憲法でいう「信教の自由」「政教分離の原則」の問題。長年の自民党政権と神道政治連盟・神社本庁、勝共連合（統一協会）などとの癒着。日本の精神風土に政治と宗教との関係が正しく理解されていない実態がうかがわれる。

### 信教の自由と政教分離の原則

大日本帝国憲法の下、先の大戦でアジア諸国への侵略戦争を積極的に支え、愛国主義を植えつける上で仏教・キリスト教等ほとんどの宗教が加担した。天皇崇拝を強制するための「神社非宗教」という詭弁を受け入れ、国家神道体制を支えた。「政教一致」（神を祭ることを政治に取り入れる）によって民衆の内心を支配し、納得できない人々を排除・弾圧した。

政治と宗教がからむとき、人間の存在・運命に大きな問題を生じる。政治はこの人間社会で、国家（権力）による現世的支配や政策を目指す。宗教は信仰・信心を通して真理・普遍性を求め、現世を意味づけ人間がどのように主体的・自覚的に関わり生きるかを問う（信教の自由＝宗教を信じる自由・信じない自由）。そこに近代社会における政治と宗教の直接的立場の次元の違いがある。ただ同時に両者ともに現世的な生きた人間たちの生活事実に立っている限り、葛藤と緊張が生じる。だからこそ権力支配としての政治が宗教に結び付くことも、宗教に干渉することも慎重でなければならない。すなわち、宗教に対して中立でなければならない原理が導きだされている（政教分離の原則）。

言論を銃撃で阻止することはまずもって民主主義への重大な挑戦である。同時にその背景には、以下に見るように政教分離の原則を現政権と宗教団体が侵害してきたことも民主主義の土壌を掘り崩している大きな要因である。日本国憲法第 20 条 1 項は「信教の自由」を保障している。「日本臣民たるの権利」（大日本帝国憲法）ではなくて「基本的人権」として保障している。同じく第 20 条 1 項後段と 3 項、第 89 条には、「政教分離」の原則が規定してある。信教の自由が本当に生きて機能するには、政教分離という制度的保障が必要である。

### 統一協会の成立と勝共連合

1954 年、ソウルで世界基督教統一神霊協会（略称「統一協会」）をつくったのは韓国人牧師・文鮮明。教義は文氏考案の「統一原理」によって、理想の家庭や世界平和を実現する指針を与えるとする。韓国では、1961 年に軍事クーデターで誕生した朴正熙による独裁政権が、対外謀略干渉組織・韓国中央情報部をつくり、その庇護の下、新興宗教団体・統一協会を組織化し、反共の政治的手段として利用した。

統一協会が日本に入ったのは 1958 年（大学では原理研究会）。彼らによって勝共連合が結成されたのは 1968 年。大きな役割を果たしたのは、日本の右翼の巨頭・笹川良一や岸信介元首相だった。80 ～ 90 年代、「霊界で苦しむ先祖を救うため」と多額の献金を集める霊感商法などによる統一協会の犯罪的洗脳によって、多くの信者の家庭で悲劇を生んできた。非人間的、反社会的な合同結婚式を、一部政治家たち（主に自民党議員）の賛同も得ながら公然と実施してきた。文鮮明はキリスト教の「再臨論」を利用して、自分が現代のメシアー救世主と教えてきた。キリスト教の衣をかぶった謀略団体、カルト団体と言える。

各国でも彼らはキリスト教ではないと強く批判され、韓国では 1975 年キリスト教 5 団体が、アメリカではカトリック、プロテスタント、ユダヤ教の指導者会議が、日本でも日本キリスト教協議会が『キリスト新聞』紙上で、統一協会との「根本的な相違点」をあげて、統一協会との「決定的な違い」を表明している。

### 統一協会と政権政策との近似性

統一協会は理念的に近い岸信介ら右派政治家と結び付いてきた。今では改憲や家族観、反ジェンダーフリーなどで考えが合致する政治家との距離が近い。政治家は選挙などで支援が得られ、お互いに利用し合う関係だ。「国際勝共連合」が公表している(2017 年 4 月）　憲法改正案は、① 緊急事態条項の創設、② 家族条項の創設、③9 条の自衛隊明記―いずれも自民党の改憲案と全く同じである。勝共連合が、神道政治連盟・日本会議勢力と並んで、自民党の改憲路線と軌を一にしているのは明らかである。

自民党は日本国憲法改正草案を 2012 年 4 月 27 日に決定した。注目すべきは、第 20 条の改憲の中身にある。改憲案は、信教の自由と一体の政教分離の原則を緩和しようと、第 20 条①後段で明示されている、宗教団体は「政治上の権力を行使してはならない」という規定を除外していることだ。また、第 20 条③項は、国の宗教活動の禁止を定めているが、草案はただし書きを補足し、「社会的儀礼又は習俗的行為の範囲を超えないものについては、この限りでない」としている。国家と宗教との「完全な分離」から「ゆるやかな分離」とする可能性がある。社会的儀礼、習俗的行為の名の下に、公人がさまざまな宗教行事に参加すること（政治家の靖国参拝含）が可能となり、一人ひとりの人権保障という立憲主義の価値を骨抜きにする恐れがある。

## 宗教知識教育の必要性

今に至って改めて、もし今回の容疑者が中・高校教育課程の中で、カルトを含めた宗教と政治の問題を系統的に学ぶ（日本・世界の宗教史や現代宗教の基礎的知識や素養）機会があれば良かったと思う。そうすれば家庭崩壊を生み出した統一協会の問題を、多くの教師・宗教者・研究者・弁護士や友達に相談し、非暴力で冷静な判断力で対応できたのではないだろうか。歴代政権の新自由主義による格差と貧困による孤独化、「自己責任」論が彼を追い込んだ一面もあろう。

統一協会問題でも窺えるように、非合理的な超常現象、易信性（霊や占いなど）、カルトに無防備に巻き込まれる現実がある。正しく宗教について理解し、理性的・知的に学ぶことも問われている。背景には教育課程の中で宗教について本気に取り組んでこなかった「政治と教育の貧困」を指摘せざるを得ない。1995 年、オウム真理教問題があったにもかかわらず、現代社会、特に教育現場では宗教とカルトの課題を忘却の闇に閉じ込めてしまった。自民党政権と統一協会、神道政治連盟・日本会議などの宗教団体・組織とは根深い癒着の構造が横たわっている。「宗教と政治・教育の問題」に不熱心だった理由が垣間見える。

一方、道徳教材を通して、内心の自由に関わる「畏敬の念」とか「人間の力を超えたもの」などの心情論には異常なほど熱心だった。このような方針で、学校や教師・子どもの管理・統制を強化、子どもや若者を無力感や思考停止におとしいれ、2006 年の教育基本法改正による「愛国心」登場で、国家主義的で画一的な価値観への同調に誘導していく。「戦争のできる国」へ引き込むのではないか。

＊宗教についての教育には、教育界では 3 つの分類が行われてきた。①宗派教育…特定の宗教への信仰を育むための教育。日本では宗教系私立学校では許されているが、国公立学校では禁止されている。②宗教知識教育…歴史等の一般教科で、宗教に関する知識を客観的に伝える教育。これは政教分離に抵触されないとされ、国公私立学校でも認められている（井上順孝・國學院大學名誉教授が宗教知識教育を母体に宗教文化教育を提唱 ）。③宗教的情操教育…特定の宗派に限定されない宗教的情操を養う教育。宗教的情操は、「生命の根源すなわち聖なるものに対する畏敬の念」という「宗教心」である。すでに現在、「畏敬の念」はすべての小・中学生の使っている「道徳」に登場している（「宗教的情操教育」は、教育勅語と共に戦前の天皇への「畏敬の念」としての修身的愛国心教育だったが、詳細については省略）。

## おわりに

私たち「平和・国際教育研究会『宗教と教育』」部会では、臨教審答申の中で「畏敬の念」が打ち出されていた 1989 年から、森田俊男・研究会会長と共に、中高校生・保護者・教師に「宗教と教育」をどう教えるかについて学んできた。もちろん 1995 年のオウム真理教事件を受けて、さらに子どもたちに『自己の内心』（ 思想・良心や信教の自由 ）の意識化を、いかに支えていくかの問題も突き付けられた。山口和孝埼玉大学名誉教授は、「子どもは、将来に自由な判断能力と自由な意思にもとづいて、宗教に関する自己決定をなす権利を保有しており、その権利を十分に行使できるようになるまで、親はその権利を留保することも必要である」（『子どもの教育と宗教』青木書店）と指摘している。元協会信者二世の抱える「信教の自由」を考える課題にもつながる。

2007 年、國學院大學日本文化研究所・宗教教育プロジェクトが実施した全国の大学生の宗教意識調査がある。Q「高校までに日本や世界の宗教文化についての基礎的な知識を学んだ方がいい」に対して、A「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は 76.2%（非宗教系国公立・私学 35 大学、4306 人）。調査責任者は井上順孝・國學院大學名誉教授（ 元「宗教と社会」学会会長、元日本宗教学会会長 ）。学生たちの宗教に対する高い関心に応える責任がある。

2015 年、私たちは『Q＆Aでわかる　宗教と教育・人権・平和』（ 平和文化 ）を出版した。子どもたちや若者たちに思想・良心や信教の自由への励ましと、それを支えていくために、宗教者・研究者・ジャーナリストや教師たち 22 人が対話・交流を重ねてまとめた。執筆にあたり、次の二つの趣旨を大事にすることに心がけた。一つは、戦争のために宗教が国家に利用されてきたことの問題をともに深く考え、二度と一人ひとりの心が時の権力者に利用されたり、支配されたりしないようにすること。二つ目は、現代の社会が抱えている宗教と教育・人権とのかかわり、あるいは、宗教と社会のあり方、宗教が向かいあわねばならない現代的な課題を、一問一答式で紹介するもの。

「信教の自由」「政教分離の原則」は、憲法第９条と人権尊重の土台であり、宗教知識教育は一層の重要性を持つ。

◆『Q＆Aでわかる　宗教と教育・人権・平和』（平和文化）

必要な方は吉川徹忍までご連絡ください。1500 円にて販売

TEl：090-7506-6015　E-mail：kikkawa@bg7.so-net.ne.jp

（原価 1800 円・出版社「平和文化」に在庫はありません）

# 共生考　番外編Ⅷ もうひとつの“水平社宣言” その２

笹川俊春（共生フォーラムひろしま理事）

## 前回の概要

今から 100 年前、1922 年３月３日京都市の岡崎公会堂で開催された全国水平社創立大会で「全国水平社創立宣言」が採択された。その冒頭の「全國に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ」という一文こそ被差別民（マイノリティ）による「アイデンティティの政治」のはじまりを宣言したという意味で歴史的な意義を持つ。全国水平社創立から 100 年、綿々と引き継がれてきた部落解放運動はマイノリティによる「アイデンティティの政治」であり、その原点は「水平社宣言」にあった。そうした「アイデンティティの政治」が 1980 年代末から 90 年代末にかけて広島県西部で活動した高校生にも引き継がれ、1989 年、広島地区部落研・解放研生徒実行委員会（以下、実行委員会）が産声を上げた。そして高校生自身による差別からの解放を求める活動が始まった。その画期となった第１回広島地区部落研・解放研生徒交流会の最後に読み上げられたのが高校生によるもうひとつの“水平社宣言”であった。

## 女子高校生の死－「広島市中学校教師結婚差別事件」

もうひとつの“水平社宣言”から２年後、1991 年 10 月、衝撃的な事件が起こった。「広島市中学校教師結婚差別事件」である。その当時、高校１年生だった女子生徒が部落出身を理由に出身中学の教員から結婚の約束を破棄され、自死するという痛ましい事件であった。この時、“宣言”の作成に関わった高校生は既に卒業し、次の世代が先輩たちの意思を受け継ぎ、実行委員会の活動を続けていた。しかし、同じ立場の高校生とつながりたい、仲間がほしいという実行委員の思いはこの事件の被害者である女子高校生には届かなかった。どうすれば自分たちの思いを一人でも多くの部落出身の高校生に届けることができるのか。実行委員会の高校生は新たな課題に向き合わねばならなかった。

結婚差別で女高生自殺

中学教諭を諭旨免職

再発なくす取り組みを

中学教諭が結婚差別

女子高生が自殺

広島

亡くなった女子高校生は戦後の高度経済成長期以降に広島市近郊に造られた新興の住宅団地で暮らしていた。部落出身であることを自覚しつつ、家族以外に彼女が部落出身であることを知っている者はいなかった。ただ、結婚まで考えるほど信頼していた中学校教師にだけは部落出身であることを匂わせ、中学校教師の親が身元調査することを恐れてもいた。一方で、結婚には「同和問題も絡んでくる」という中学校教師の言葉に、「それはおかしい」と決然と対峙し反論するのである。

しかし、結果として、彼女はその短い生涯を終えるまでに生身の部落の人々や現実の部落と出会えないまま、中学校教師から結婚差別を受けたことで、深刻な部落差別の現実に直面することになってしまった。しかも、そのことを誰にも相談できず、一人で抱え込んでしまう。そして、彼女は孤立を深めることになった。現実の差別は抗いようのない強制力で彼女の存在を否定し排除する。それはまさに圧倒的な暴力にほかならなかった。孤立感が絶望に転化したとしても不思議ではない。

実行委員の高校生にとっても女子高校生の死は他人事ではなかった。なぜなら自分と同世代の女子高校生の死であり、日常生活では部落出身であることを「隠し」ている自分自身の身にも起こり得る出来事だったからだ。ただ、幸いにして自分たちには実行委員会という「隠さなくてもいい」場があった。「もし、彼女が実行委員会に来ていれば死なずに済んだのではないか。なぜ彼女と出会えなかったのか」、高校生たちは考え続けた。広島県西部にあるすべての高校に実行委員会の活動をアピールし、まだ見ぬ「仲間」に自分たちの存在を知らせたい。その思いが「解放文化祭」という新たな場の創造につながる。こうして高校生の新たな動きが始まった。

## 「語り」という文化

1992 年 12 月、「広島市中学校教師結婚差別事件」は私たちの予期せぬ方向に急展開する。部落解放同盟広島県連合会（以下、広島県連）との間で糾弾会が継続中であったこの時期に、広島市教育委員会（以下、市教委）は広島県連に何の連絡もなく、当該の中学校教師を諭旨免職にした。「差別はしていない」と開き直った中学校教師を市教委は“指導”できず、免職にしたのである。そのことで結果的にこの事件は世間一般に公表されることになった。1992 年 12 月 28 日、広島県連は記者会見し、この事件を公表した。マスコミ各社は翌日の朝刊で、この事件を一斉に報道した。こうして「広島市中学校教師結婚差別事件」は世間一般の知るところとなり、実行委員会の高校生にとっても、自分たちがずっと抱え込んできた思いを表現することが可能な状況になった。

そして、1993 年 4 月、当時高校 3 年生であった実行委員の一人は年度初めの実行委員会で、「今年は広島地区で初めての解放文化祭を自分たちの力でやり切る」と宣言した。テーマは

「広島市中学校教師結婚差別事件」であり、自身の言葉ではもはや語ることのできない女子高校生の思いを朗読劇という形式で表現することにしたのである。差別や抑圧によって命を奪われ、語ることのできない死者の言葉を想像力によって回復し、自らの身体を通すことによって血肉化する。これこそが「語り」という文化であり、それは差別からの解放をも意味していた。

1993 年 12 月 19 日解放文化祭当日、200 人近い参加者を前に「広島市中学校教師結婚差別事件」は朗読劇として上演の時を迎えた。劇の冒頭に出演する高校生を代表して実行委員の一人が自らの思いを語った。

私たちがなぜ解放文化祭をしなければいけないと思ったか、そのきっかけは、一人の少女が自殺したことを知ったからです。同じ人間として生き、同じ人間として人を愛し、死を選ばなければならなかった彼女は、何を思いながら死んでいったのでしょうか。まだ、17 才ですよ。私たちにも明るい未来はあるのです。差別には負けません。私には本音で話のできる仲間がいます。一人で悩まず、一緒に悩んでくれる仲間がいます。どこにいても私たちは仲間です。その仲間と一緒に今から朗読劇をしたいと思います。これを見て、差別というものは人の命までも奪うんだということをわかってもらいたい。そして、差別をしないでほしい。

実行委員会の高校生は自分たちの思いを、何よりもまず、この日会場に来ていた同世代の高校生に伝えたかったのだ。たとえ劇そのものは未熟で拙さの残るものであったとはいえ、高校生が絞り出す言葉には確かに「伝えたい思い」が込められていることはわかった。朗読劇は最後に、出演者全員による「水平社宣言」の朗読で幕を閉じた。高校生が「水平社宣言」の中の「エタである事を誇り得る」という言葉に込めていたのは、「エタである事を誇」れなかったがゆえに、死を選ばざるを得なかった女子高校生の現実であり、「誇れない」という一点において、それはまさに自分たちの姿と重なっていた。だからこそ、差別による新たな犠牲者を出さないために、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と大きな声で叫び続けなければならなかったのだ。

これ以降、後輩たちは毎年、解放文化祭の舞台に立ち、自らの立場を宣言し続けた。もちろん、舞台に立つのは部落出身の高校生だけではない。マイノリティである自らの立場を明らかにし、その思いを言葉にした者もいた。多くの高校生が解放文化祭の舞台に立った。言葉が出ずに絶句してしまう者。溢れる涙をこらえて言葉を搾り出す者。その姿はまさに「花におしかぶさる重みを／花のかたちのまま／おしかえす／そのとき花であることは／もはやひとつの宣言である」（石原吉郎「花であること」）という詩の表現そのものであった。差別という重みを自らの存在をかけて押し返す時、高校生は確かに「花」になっていたのだと思う。

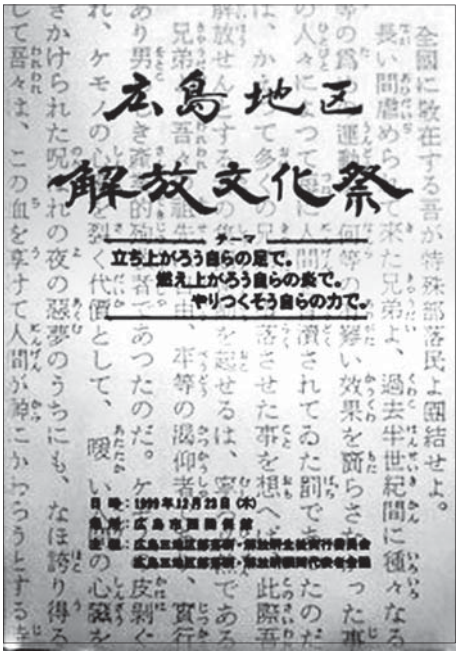
## おわりに

「仲間と出会いたい」という思いを表現する場、被差別であることを語る場、そして「語り」という文化を発信する場としての広島地区解放文化祭は、長くは続かなかった。21 世紀を目前にした 1999 年を最後に幕を閉じた。それは何よりも、高校生たちの自主活動の場であった実行委員会が機能しなくなったことが要因であった。毎週木曜日の夕方、西隣保館（現在のいきいきプラザ）に集まっていた高校生がほとんどいなくなり、それまで続けてきた活動を継続することが困難になったのである。その最大の要因は実行委員会が解放子ども会のような地域を基盤とした活動ではなく、各学校の部落研や解放研を拠り所とした活動であったという事情がある。新たな生徒との出会いは各学校の教員の取り組みに負うところが大きく、実行委員の生徒が後輩たちに直接活動への参加を勧誘できるのは自分の在籍する学校に限られていた。しかも、在籍する学校でさえ、誰がマイノリティの生徒なのかを知ることは、理解ある教員の助力なしにはできなかった。それは地域を活動の基盤にすることができなかった実行委員会と私たち顧問の限界であった。

高校生が主催する形での解放文化祭ができなくなってからも、少数の部落研解放研顧問の教員によって解放文化祭は開催され続けた。しかし、それも 2002 年の法 ㈜ 期限切れが追い打ちをかけ、文化祭に参加する教員が激減、2008 年を最後に解放文化祭は完全に終わった。さらに、少数の学校とはいえ存在していた部落研や解放研の活動も 2010 年にはほぼなくなってしまった。こうして、「もうひとつの “水平社宣言”」から始まった広島県西部の高校生たちの自主活動は終わりを告げたのである。

最後に私の話を少しだけ付け加えておきたい。私が勤務していた学校でも 2010 年には公立から転職してきた校長が部落解放研究部と朝鮮問題・文化研究部の名称である「部落」や「朝鮮」という表現の変更を提案してきた。この提案は表面的には名称変更の提案であったが実質は廃部を意味していた。二つの部の顧問であった私には、校長と徹底的に対峙するか、それとも妥協点を探るか、いずれかしかなかった。私は二つの部を統合し、「多文化マイノリティ研究部」として再出発させるという案を校長に提示した。結局、2010 年 10 月新たな部が誕生した。1987 年に一人の部落出身生徒の「部落民宣言」を契機に創部された部落解放研究部は 24 年の歴史に終止符を打った。

㈜ 編集部注：正式名称は「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」で略称は「地対財特法」



核兵器廃絶　いのちを守る　だからこそ９条

朝日はカラーで！

# ストップ憲法改悪！ 8.6 新聞意見広告 2022　今年も 掲載 することができました！

**ご参加、ご協力を、ありがとうございました！**

第九条の会ヒロシマは、30 回目の 8.6 新聞意見広告 2022 を掲載することが出来ました。昨年を上回る 4,574 の個人・団体（8.28 現在、匿名含）のご賛同を頂き、皆さまのご支援、呼びかけなどのご協力に、世話人一同、心より感謝申し上げます。

今年は参院選後、改憲の危機感も強く朝日新聞朝刊全国全 15 段をカラーにしました。中国新聞は残念ながら全エリア全 15 段ですがモノクロとしました。皆さまにはカラー版のポスターを同封致しました。ご感想やご意見などをお寄せ頂ければ幸いです。

**―8 月 6 日の事実と意味を問い続けるー**

8 月 1 日から一週間、朝日デジタルに

**島村眞知子**（事務局）

意見広告の誌面作りに携わるようになって十数年。毎年、その年の政治情勢を見ながら皆で意見を交し進めていきますが、今年はロシアによるウクライナ攻撃という主権を持つ独立した国が軍事力で侵略され、衝撃を受けました。政治家から「核共有」「軍備拡大」との発言が出て、新聞に広告を掲載する意義がさらに重くなったと感じました。それでも毎年賛同してくださる方お一人、おひとりの名前とメッセージの重み、すばらしいデザインによって 2022 年の紙面が出来あがりました。「いつかカラーの紙面で掲載できたら」との願いも実現しました。ありがとうございます。憲法改定だけではなく、年々きびしくなる気候状況、経済格差などなど私たちを取りまく世相に心休まる時がありませんが、皆様と「あきらめず」「希望をすてないで」行動していけたらと思います。

**西浦紘子**（会計）

今年度も権力とコロナに負けじと新聞意見広告に取り組みました。一昨年も昨年もコロナの影響で賛同者は激減するだろうなと懸念したにもかかわらず多くの方々が賛同してくださいました。そして今年、勢いに乗って私たちは、参院選の結果から案じられる改憲の動きを阻止すべく注力致しました。紙面も朝日新聞カラーでいけると判断しましたが 7 月になって何故か賛同の勢いは伸びませんでした。結局収支が釣り合いませんでした。カラーにするには力が足りなかったのかもしれません。しかし諦めないで、今後も力を合わせていければと願っています。

**石岡真由海　（グラフィックデザイナー ）**

命の存在を許さない暴力を、生きながらにして焼かれる地獄を、自分と自分に続くものたちの放射能被害という苦難を、原爆被害を示す数字は明確に伝える。被爆の記録・記憶は原爆の破壊力に焦がれる核武装論者の前に 77 年間立ちはだかり、人々の想像力という途方も無く大きな力を支え、非戦の願いを掻き立て、平和の道を切り開いてきた。うわべでは改憲が喧伝されるがその実、77 年間放置し続け腐りきった戦争責任を、日本国憲法の３本柱で開き癒していく作業が始まったのではないだろうかと思う昨今、みなさんとともに、さらに進めたい。

**メッセージ…**　今年は 500 を超えるメッセ―が寄せられました。9 条改憲や軍拡だけではなく、人権・差別、農業・環境問題など様々な課題があります。多岐にわたるメッセージは根底でつながりあい、問題解決には、憲法 3 原則（基本的人権尊重、主権在民、平和主義）の力は欠かせないことであり、皆さんと共有したいと思います。

**お名前の掲載…**　毎年掲載するにあたり、お名前の字や読み、掲載可・不可、住所など名簿整理を行います。今年も個票とリストと、会報送付用の名簿と照らし合わせ、世話人＋心強い助っ人 10 人と 2 日かけてチェックし、紙面に載せた後にも何度も校正しました。それでもどうしてもお名前を掲載してなかったり、字が違っていたりして、本当に申し訳なく、お詫び申し上げます。

▼事務局のミスで掲載できなかった団体・個人（敬称略）

新社会党因島支部　時本千恵美　柏原秀清　山内隆綱
益田美都子　松原多恵子　則藤了　村井信悟
村上美紀子・村上史江　臼井秀之

▼締切以後にご賛同くださった方々（8 月 28 日現在）

高垣妙子　江川紘史・江川智子　前山賢　中野三栄子
湯浅正恵　山崎幸子　松本信子　中村悦造　伊藤和美
佐田絹子　千葉利江　堺武男　上田屋修司　佐々木健夫
福島清子　中村とし枝　入江洋子　加藤昭　髙野年弘
榎本みつ枝　関根ふさえ　五十嵐唯子　目崎礼二郎
西浦昭英　高山千恵子　村田暁美　神山美智子
下出和治　下出保代　　不可 7 人

今年 1 月、8.6 意見広告をどうすると話し合いながら参院選後の意見広告だからねぇと悩んでいました。でも結果がどうあれ、私たちの主張は変わらないと決定しました。賛同を呼びかけ始めると「戦争する国絶対ダメ！核兵器禁止条約批准、憲法を活かそう、憲法の改悪反対！」と続々。心強い限りでした。（名前明記以外は藤井）

# 購読者からのメッセージ

今年の 8.6 新聞意見広告も、購読されている 7 ～ 8 割以上の方々がみてくださったようだ。8 月 6 日の意味、この日に掲載した意義、大きな数字について、デザインについてなどお寄せくださり、4500 を超える名前の重みも感じてくださっている。毎年見ている、「第九条の会ヒロシマ」を知っていると書かれた方が増えたのは、続けてきたからだろうか。また嬉しいのは、紙面を見てご自分の思いを短くも長くも綴られていること。あらためて関わってくださった皆さんに感謝!!

・8.6 新聞意見広告をありがとう。原爆ドームをバックに衝撃的な数字が迫ってきます。今までで一番。具体的な数字は胸に迫ります。来年以降も継続されるよう希望します。（中山省三）
・今回も素敵なデザインでした！　8/6 本日 全国紙にカラーで凄い事です！　発行に至るまで 大変だった事と推察します。本当にお疲れ様そして有り難う御座いました。　（利根悌子）
・私は 6 年前から母を介護し自宅で看取り、九州に帰ります。来年は九州から 8.6 意見広告への参加です。今年の意見広告は核戦争を起こしかねないプーチンを許さないと強く感じました。私は四国電力伊方原発差し止めの原告の一人です。今なお福島の放射能のもと暮らしている人々。政府はまだ推進しようとしてます。自らの生活も考えなければ。（大熊みどり）
・爆心地周辺を 3000 ～ 4000°C で焼き尽くした、と具体的数値の入った表現、良かったと思いました。人間が一瞬で蒸発し、炭になった（←8.13NHKTV 夜 11 時～ナガサキの痕跡）ことが嘘でないと教えてくれる紙面でした。　（小川泰子）

**29 歳以下**---------- 以下はお名前のない方々
・原爆が投下された日、改めて核兵器や平和を考えた。
・広島での被害なくして今がないということを改めて実感した。また広島の原爆に関するイベントに参加したいと思った。
・いくつかの数字と、賛同者の名前が無数にならぶ紙面は非常にインパクトがある。数字に犠牲者の人数を書かなかったことは好意的に評価したい。被害者の固有性を奪う暴力性への抵抗という基本的な理念がこの広告からは感じられる。男性
・この活動は、永遠に途絶える事無く続けて頂きたい。
・ちょうど原爆の日だったので、印象に残りましたし、改憲については本当に多方面から一人ひとりが真剣に考えて向き合わなければいけない問題だと改めて思いました。
・ウクライナ問題にも繋がると感じた。日本だけでなく海外の人にもこの広告を知ってほしい。
・多くの人が核兵器について意見を持っていることがわかり、私も真剣に考えなければならないと感じた。
・今戦争もやっているので、改めてあかんことと思う。

**30 歳代**----------
・原爆がもたらした惨状が率直に突き刺さりました。ヒロシマの特集をニュース等で見ても、私はまだ知らないことが多く、もっと知らなければならないと、身をもって感じます。
・今の自民党政権には、うんざりなので、『第 9 条の会ヒロシマ』の考えには概ね賛成です。この会のような考えの方が増えて、自民党と公明党と維新の会統一教会を倒してほしいものです。
・「核兵器で、誰が何を抑止するというの？」というこの広告は日本国民皆に見てもらいたい。ロシアの侵攻以後、国内では核を持つこと、軍事力を高めること、9 条改正など、様々な戦争へ近づくような意見が聞かれるようになった。日本の人々は戦争の恐怖、悲惨さを知らなすぎる。改めて原爆のむごさを学び直して、人々の死の上に今があることを知ってほしい。
・数値で示されるとその凄まじさをより理解できる。第二次世界大戦の記憶は薄れつつも、戦争の惨状は連日目の当たりにしている昨今、この広告を見れば少し変わるだろうか。
・良い活動だと思う。今ウクライナで核兵器の使用が現実味を帯びている。自分は何もできないが関心だけは持ち続けたい。
・核兵器禁止条約の批准を求めるのは納得ですが、第九条を世界に広げるのは無理だと思います。
・核兵器が戦争抑止のための必要悪という側面があるが、唯一の被爆国であり、未だ被爆者やその親族などが多くいる日本は、政府は国を挙げて核廃絶を訴えるべきだ。しかし「ウクライナ侵攻」などは核以外の兵器で行われている。「兵器廃絶」や「武力行為廃絶」も悪ではないか？
・「第９条の会ヒロシマ」をこの広告で知りました。核兵器の禁止や NPT の批准を世界に叫ぶべきだと思いますし、憲法改正の声が出ている今、第９条は是非守るべきです。

**40 歳代**----------
・原爆投下は 77 年前に起きたことだけど、もしこの時代に生きていたらと思えば恐ろしい。被爆体験した方が年々減ってきているが、伝え続けていかなければいけない。
・主張に共感する。困難な道のりですが、共に頑張っていきたい。
・一年に一度想いを馳せる。核という絶対的な強さを持たずに話し合えたらどんなに素晴らしいことか。
・1000000℃という、想像すらできない爆弾で、一瞬で、人の命が奪われるという惨状が表現されていると思う。
・核兵器は「使わなければ良い」ではなく、完全になくさなければならないと考える。いつ何時、独裁主義者が既存の核兵器に手をつけるかもわからない。決してあってはならない。

**50 歳代**----------
・忘れてはいけない、繰り返してはいけない。後世に語り伝えよう。ロシアが核の使用も辞さないというのは本当に恐怖だ。世界中が広島や長崎で起きた悲惨な事実を認識して欲しい。
・ウクライナ情勢、台湾での緊張状態を考えると、8/6 に広告が出て、こういう意見広告がもっと出てほしい。
・当たり前の平和と安全である時代が崩壊しようとしてる。憲法改正案に危機感を感じる。
・第九条の会ヒロシマを初めて知った。応援したい思う。
・若い人の中には８月６日が何の日か知らない人もいる。戦争はどれだけ悲惨か過去の歴史から学べばわかることだ。日本が大きな声を上げなければいけないと思う。
・一人ひとりの名前が書いてあって、すごい迫力がある。参院選で自民が勝ったけど、この広告を見て、憲法改正ということに投票した人はどう思うのだろうか？
・原爆の事を具体的な数字で知らなかった。また原爆の被害に遭ったのは人間だけではなかった事にも気付かされた。

**60 歳以上** ----------

・先の参議院選挙で、自民党が圧勝し、改憲の方向へ進みそうだ。国民の思いとは違うと思う。改憲したい議員自らが戦場に行けばいいと思うのだが。
・核のない世界にしていくことに誰もが声を上げていくことの重大さを感じます。戦争のおろかさが心に響いてきます。
・コロナ禍に振り回される日々が続き、長崎やヒロシマのことを失念していた。忘れてはならないことだと反省した。
・ウクライナの戦争のニュースを見るたびに、日本ができることがないか、考える。憲法改正が叫ばれるなか、大切なことを忘れてはならないと思い出させてくれる広告である。
・原爆が投下されてから 80 年近く経ちましたが、この戦争と原爆の悲惨さは語り継がれていかなければなりません。1945 年 8 月 6 日に広島で起きたことを世界中の人が教訓にして、核兵器の廃絶に努力してほしいです。憲法 9 条を国境を越えて広げることに賛成です。
・自民党が恐怖心を煽って自衛隊を正当化するのは旧統一協会の霊感商法と同じだ。何としてでも 9 条を死守したい。
・77 年という歳月は相当長いが、戦争被爆国として決して風化させてはいけない。たとえ 1 日だけだったとしても、こういう意見広告が掲載されることは良いことだ思う。
・毎年見ています。とても大事なことと理解しています。
・新聞を取らない世代に現実をどう伝え続けていくか、本当に日本の教育を根本から考える時期だ。
・米国との関係を見直す時期です。米国は日本、韓国、台湾を自国を守るための盾としか考えていません。
・原爆の威力を数字で羅列して頂き改めてどれほどの惨劇がこの国に有ったのか痛感しました。原爆は国と国が争わない限り無用になるはず。憲法 9 条は守らなければなりません。
・核兵器は地球上の生物の為になくしたいと強く感じました。
・"8 月 6 日が今年も来たのだと改めて感じる。大きく白抜きされた文字が心につき刺さる。訪れた暑い広島、原爆ドーム、記念館、忘れられない。憲法 9 条の重要性を今だからこそ、だれもが考えなければと痛感する。
・世界で唯一の原爆被害国なのに、核兵器禁止条約に批准できない日本国政府。米国の顔色ばかり気にする岸田総理の「新しい民主主義」とはこういうことを指すのか。
・敗戦の時、みんなが平和を願い、二度と戦争は嫌だ、してはならないと決意したはず。守りぬきたいと思います。
・素晴らしい広告です。実は毎年賛同カンパし名前も載りました。今年はカンパできず名前もなくシクシク…　年金生活で節約してねと妻から毎日言われて。この会には全面支持です。

## 会員さん　8.6 新聞意見広告 22 に賛同してくださった皆さんからのメッセージ

**1月** ----------

髙田知惠子　九条を世界のスタンダードに！
米光裕子　9 条改悪を許すな！
兼綱寿美子　平和のとりで、憲法9条を守りましょう。
藤川博正・布子　今の憲法を護り抜き、絶対不戦でなければ！
小林義朗　弱者・沖縄の人・被爆者の声を聞き、実行を！
牧野正博　政府は、どう見ても第九条とはかけ離れている。
東真喜子・道成　微力ですが、応援します。
宮澤玲子　核兵器は禁止から廃絶へ！
髙岡純子　無力感を感じることも多いですが、つながっていることがせめてもの”抗い”です。
池上貴美香　私 91 才。夫は病と共生中。行動出来ない現実。でも心は若者に負けないように。
深澤睦子　”国防”をかたる戦争準備、許せません！！
岩本恵子　継続は力なり
斎藤義夫　太平洋戦争も敵基地を攻撃して日本が始めた。今、非常に危険な状況。
加藤敬　平和は声を上げれる事、継続を。
藤原睦明　改憲は絶対に許さない、共に頑張りましょう！
高下圭一　戦争は最大の人権破壊であり、環境破壊です。九条の理念は絶対に守らなければなりません。
平田里文（不殺生きとし生けるものの会）　軍事費は、教育と福祉に回し、格差を無くすべき。
天部テルミ　貧者の一灯ながら余りの無力さに心が折れます。
塚原貴代美　憲法 9 条を守ろうを合言葉に　美しい地球に緑の自然をいっぱい
牛島忠夫　広電の被爆車両 2 台を市の文化財に指定し、公的に保存するべきです。将来的には世界歴史・文化遺産に指定されてしかるべきと思います。
石川晴子　戦争をしたい人の気持が私にはわかりません。

**2月** ----------

小野邦英　アリの一穴！現憲法死守！やさしい憲法を台所や小、中学校に一層広めましょう！！
不殺生きとし生けるものの会　平田悦子　敵基地攻撃の為に軍事費 2 倍にするなど言語道断！
甲斐高之　大分の地より「平和」への思いをこめて！
寺本是精　不可侵、不可被侵
松田正久　核廃絶、改憲阻止に向けがんばりましょう
西正　ロシアのウクライナ侵攻。独裁国家はナショナリズムを煽り危ないですね。人類は兄弟。慈しみを持って生きたいです。
西村陽子　逆風の中でも灯をたやさず、がんばりましょう！
和田里眞弓　コロナウイルスのために行動制限がかかり、困難な状況にある人のためにも祈ります。
坪倉まつみ　活躍を期待しています。プーチン打倒！！
山今彰　公文書の改ざんをする政権に憲法を論じる資格は無い。
大西五己　戦争反対！ノーモア．ヒロシマ！ノーモア．ナガサキ！ノーモア．ヒバクシャ！
森匡世　戦争は人間を悪魔にする。憲法九条死守。
下末かよ子　戦争しない国を子どもたちに！
「同行二人協会」原田健・岡本博美　「敵基地攻撃能力」をいう輩はまず自らの邪な霊を先制攻撃し杭を打て。
小山善生　コロナ禍とプーチンの戦争で改めて憲法の大切さを知った。
三輪幸雄　今こそ核戦争の危機にストップを！

**4月** ----------

鈴木康紀　非核三原則の堅持、頑張ろう！
土井ちづ子　子どもたちの未来の為にずっと９条を守りたい！
植本キミヱ　５月３日は憲法記念日　改憲反対
松本宣崇・一恵　日本政府は核兵器禁止条約締結を！直ちに！

山本俊彦・尚子　核と原発の日本から廃絶は地球環境保全の一環。
上高田保育園９条の会　花には太陽を　子どもたちには平和を
田尻淳　「核兵器に核兵器で対抗する」とんでもないです。ロシア、アメリカは核兵器廃絶のタイムテーブルを出せ
西川幾之進　孫を戦争から守るため！
富矢伸史　憲法改悪を決して許さず、「憲法九条」を守り、子供たちに輝く、明るい未来を。
中山誠一　戦争放棄と非武装　憲法９条の原点に還って実現させよう！
小出慶子　戦前の日本が軍国主義の下にアジアの人々や自国民にどれほどの犠牲を強いていたか、また敗戦により憲法九条を含む新憲法が施行された事で、今の平和な日本が生まれた事をもっと若い方々に拡めるべきだ。
脇義重　むしろバイデン米政権による世界分断政策の変更がウクライナと世界の平和に必要ではないかと思います。
赤羽佳世子　戦争のない平和な未来のために、今できることを！
後藤幹生　核のない世界の早期実現を！！
傳道肇・傳道美由紀　戦争反対！
西家美智代　戦争がやりたくて仕方がない輩がいる。戦争を正当化する輩がいる。私たちはだまされてはならない。
髙橋圭子　ウクライナ、ロシア情勢を悪用しての改憲核共有などありえないことです。
佐々木富貴子　核兵器のない平和な世界を！！
寺田真人　火事場泥棒のように雪崩式でもって社会の仕組みを現状変更を目論むタカ派連中を一掃しよう。
出口紀代子　憲法改悪反対。軍国主義復活阻止しよう。
矢三隆司　戦争反対！ウクライナに平和を。暴力を許すな！
渡辺泰子　意見広告に私の名を掲載して下さい。
湯浅伸弘　間違った方向には行かせない！
東雅明・東ちづ子　核兵器禁止条約に参加する日本国政府を作ろう
髙磨真佐子　飢え・恐怖・貧困が１秒でも早く無くなる様に
後藤幹生　ウクライナに一刻も早く平和を！！
岩下健一　今こそ、憲法の前文と９条の内容を生かす時！
北阪英一　核・原発なくても地球は回る。
植本キミヱ　改憲反対、核兵器禁止、使用・保持も反対
豊永博子・雅雄　ウクライナにも平和を！　ウクライナ解放！
阿部善信　今年はヒマワリをたくさん咲かせようと思います。
小松克己・小松美城子　憲法九条を大切に守りたい！
田中義行・鳥越ゆり子　「すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとって生命は愛しい。」（ブッダ「心理の言葉」より）
岡田知子・岡田英樹　ロシアによる核使用のおどしや原発を戦争の道具にすることは絶対に許せません。
多賀淑江　平和を希求し続ける心を老いも若きも全員が持ち続けることがとても大切です。
橋本雅文・潤子　武器では平和をもたらせません。九条を世界へ
蓮岡鉄雄　憲法改悪　絶対阻止！
田代周司　ウクライナに平和を！
板谷完二　人の生命を粗末にしない！
丸本和子　今年90才になりました。新しい憲法が発布され、もう戦争はしませんとの文言に胸がふるえた日を思い出します。
池田洋子　戦争を止めて！
兼綱寿美子　戦争は互いに傷つく。憲法９条を守りましょう。

赤松竜・江口直美　沖縄県知事選挙のオール沖縄再勝利で、辺野古新基地建設を断念させましょう！！
渡辺澄江　私は1945年8月6日生まれです。広島生まれではありませんがヒロシマを忘れません。九条と共に。
山上敏秋　「戦争反対」今こそ９条世界の宝
兼崎正英　『攻められたら、丸腰で死ぬ』が９条の精神」と阿刀田氏。でも怖いので、『攻められたら、降参する』にしとこ。降参してから何をするかが問題。
巽裕子・良輔・八島亜弥　今こそ、憲法９条を世界へ！！
富矢伸史　憲法９条の改憲（怪憲）を許さず、あらゆる差別をなくしましょう。
三原憲法朗読会　９条を全人類に届けよう！
芳野彰　世界は九条に逆行しては成り立ちません
鈴木哲朗　中立平和
後藤喜久子・仁敏　今こそ憲法９条を世界に輝かせるときです。
北村由紀子・北村達夫　No　Nukes　No　War　STOP　War
清水雅彦　ウクライナ侵攻から学ぶべきことは、アジアで日米韓・朝鮮・中国との安全保障の枠組を作ることであり、防衛費増額や核共有ではありません。
石黒康二　戦争しない、させない日本にしていきましょう。
吉村りよみ　「核抑止論」は無意味でした。プーチンのようなリーダーには。
太田稔　私は甘かった。ロシアはすでに、シリアでも廃虚をもたらしている。今さらだった。ああ。なげくばかりでは・・・
岩戸弘・悠実・康祐　戦争してもなんにもならない　だからしない。
川口重雄・岩元由美　倦むことなく自由を我らに、憲法の理念の実現を。
中川了之・中川祐子　平和を創る者となれ
永山良樹・京子　憲法９条が照らす日本の進路、戦争はダメ！
下垣内法子　核廃絶と原発　戦争のない世の中を願っています
越智和彦　友もまだ時間はある
古澤望　武力でこの国は守れない！憲法改悪反対！９条を壊してはいけない！
深澤睦子　今こそ九条！抑止力って？
岩崎保則　戦争を愉しむ者たちを言葉で羽交い縛めしよう。
野口修　兵戈無用
満田幸子　私を身籠っていた母と私を残し、北村家全員が死亡しました。無残な死でした。
諸橋泰樹　いくさ世の国を守れと大合唱　９条２項は変えさせぬ
棚橋寿郎　九条のみに留まらない幅広い活動を。
萬宮千鶴子　コロサレタクナイ　コロシタクナイ
大口彰子　Solidarity ！
阿部良之　非核三原則の放棄や敵基地攻撃可能論は、断じて許されないことだ。
一丸雅和　ストップ改憲のために何としても参院選で、自公・維に痛打で！
道津弘二　「武力で平和はきずけない」訴えを広げよう
高桑次郎　憲法９条世界の宝　改憲阻止！！　がんばろう
小野田雄二　尊いお働きの上に祝福がありますように。
松本正次　日本では戦争の道具は持ってはいけないのです。
野村晋一　核戦争に勝者なし！
田中暉彦　憲法は日本国民が守るべき平和のとりで
水久保文明　「過ちは繰り返さない」誓い、改めて今。

井原俊博・井原美代子　憲法９条は日本の誇りです！！
奥下厚子　今こそ、世界へ九条の大切さを伝えてゆきましょう。決して諦めずに。
市場恵子　対話による平和をめざす議員を選挙で選びたい！
森永肇子　ウクライナとロシアの問題が平和をおびやかしている今、だまっていては大変なことになると思います。
坪野弘幸　９条を世界の人々へ
島崎ゆきこ　すべての国の軍隊をなくすべきです。
鈴木孝史　ウクライナに平和を
竹林自然・竹林久榮　核で平和は守れない
脇千明　平和が一番！　９条を守り、子どもらに平和な未来を！
切明泰史　「武器を捨てよう！！」争いをやめて、笑顔で生きていける地球に！！
高下圭一　憲法の理念は万国共通のもの。今こそ見つめ直さなければなりません。
米山容子　戦争は猫とオタクの敵！
花ノ木清子　平和の祈り、広島から永久発進。
北村聡・北村ゆかり　世界から核がなくなりますように。
小林將夫　今こそ９条守れ！
牧野正博　戦争は勝ち負け問わず両者を不幸にします。
水谷完治　平和憲法をもつ日本がリーダーシップをとって世界平和を目指そう
押部禎一　改憲ゴキブリ撲滅
下末かよ子　戦争しない国を子どもたちに！
倉澤憲司　憲法改悪絶対反対！労働者の国際連帯で国家が起こす戦争を止めよう
渡口差知子　平和に暮らせる世界を
藤井英二　９条は日本人の心だ
大田たか子　少しずつ憲法が変えられ、軍備が増やされている恐怖を感じています。
上杉まり子　歴史からきちんと学べ！
草場純　人類を滅亡させないために！
中野護　いまこそ、９条を世界に！！
小山善生　平和憲法の重さは人の命の重さそのものと知る。「過ちは繰り返しませぬから」
小山尚吾・小山和美　改憲反対！世界の鏡　第９条！
寺西義廣・純子　日本国憲法を世界遺産に！改悪させないぞ！
平尾芳郎　平和！
花岡誠一　戦争アカン　軍事的同盟もアカン
清水正人　武器商人を表に出すべき
根岸明子・一美　武器を持たない外交努力が平和への唯一の道
鈴木茂久　ウクライナ侵攻はゆるさない。軍隊では国民を守れない。今こそ憲法第９条の出番です。
森雄二　殺したくない！殺されたくない！殺させたくない！
吉野典子　殺されたくないだけでなく、殺さない覚悟を九条は求めているはずです。
大林トヨ子・大林稔　今こそ九条を世界に
髙岡純子　武力で平和はつくれない
新藤知樹　ガンジーの「非暴力・不服従」の精神を今一度想起したい。
松下元　何があっても戦争はダメ！
さはしやよい・佐橋京四郎　子どもの笑い声があふれる世界になるよう、私たちの力で戦争を止めましょう！
石田俊明　爆弾を花火に変えよう
島野博之　核、武器を捨てよう！平和を戦いとろう！
梶間恒夫　憲法前文あっての憲法９条。前文をわかりやすく説明を
菅原秀雄　核兵器は何らの例外なく廃止、禁止することのみが唯一の方策です。
松本聡　守ろう！活かそう！憲法九条　許すな改憲！
成田強　何としても改憲阻止！！
新社会党　平和憲法は日本の宝
佐藤純子　憲法改悪反対！平和憲法を守ろう！
澤野重男　子どもたちに平和と愛と日本国憲法第九条を
川松春之・万里子　人が人らしく生きられるのは平和があるからこそ！
超保守的なキケンジジイ　戦争とは悪であり、国家の行う犯罪だ!
中村三郎・中村艶子　再び戦争を起こす国とならないために力を合わせてがんばろう！
栗田道子　聖書とイワンの馬鹿の国が好きです。
橋本三千代　戦争はイヤ
吉村りよみ　軍事力対軍事力にしないのが政治の仕事です。戦争が始まってしまったらダメ。
大谷猛夫　戦争しない、軍隊はもたない、は日本の国是
鈴木敬二　９条を守り発展させましょう
辻村玲子　核、基地、軍備、戦争につながるものはいらない！
瀬山春彦　核兵器共有や反撃能力保有で世界の平和は守れない。
黒田弘朗　憲法改悪するな！
横山淳　九条という宝物を大切に守りましょう
瀬賀弘行　ペンは剣よりも強し。ペンで戦いましょう。
遠田豊次郎　日本国憲法は私たちの生命です
安藤清貴　日本国憲法こそ世界に誇れる憲法。改憲は以ての外
森文明　改憲派の皆様へ
" 心入れ替え憲法に沿った社会を創りましょう "
松原千里　戦争する国にどんどん加速して恐ろしい。
伊藤幸エ　戦争は犯罪です。やめましょう。
加藤真　核、兵器、軍隊では紛争は解決できない！
今こそ、日本国憲法の精神を！改憲勢力に NO ！
山田健一　平和を守る！命を守る！９条を守る！
白井千也　いのちを守るために９条を守り抜く

**５月 ----------**

松本英利　読売新聞にも出してほしいです
山村幸枝・井上貞子　世界に広めよう　日本国平和憲法を！
三井富士夫　九条は米国への派兵拒否権！！
井上京子　平和憲法を守りましょう
竹内俊輔　改憲より外交に力を入れるのが国会と内閣の仕事
鈴木美香　世界に誇る憲法九条を守る！
島崎ゆきこ　すべての国の軍隊をなくそう！
手束光子　今ほど平和憲法が有難いと思ったことはない
平和は武力では得られません。
どきんこチョン　今、プーチンがウクライナにしていることと自民党政権が沖縄にしていることは武器こそ使っていないが同じ構図
宮脇正和　日本国憲法第９条は戦争のない世界へのキーワード
小林和之　９条は人類の理想　変えてはなりません
小林義朗　ウクライナの惨状を見ても、
まだ「戦争する国」づくりをすすめるのか！
柳つとむ　核禁条約を通じて世界の人々の力で核をなくそう！
辻辰生　国際平和を希求し、国権の発動たる戦争、武力の行使は永久に放棄する。現憲法を守り育てたい。

今川治　核の暴力を許さない
能瀬英太郎　キケン　カイケン　ホットケン
竹下忠彦　ウクライナ危機に乗じた憲法改悪の動きを絶対にストップさせましょう！！
谷代久恵　老いた身と少ない年金の遣いどころを厳選して います。非戦の誓いを忘れないようにするための意思表示に。
平塚元子・平塚のぶお　あゝ　ゆるすまじ　げんばくを
水戸喜世子　九条は守るものではなく使うもの。世界の人々の合言葉になる日に向けて。
奥井健二・奥井和美　国守るため九条守ろう
与那嶺徳政　緊急事態条項の創設を許すな
小澤雅子　今私達が世界に誇れる９条を大切に持ち続けよう
達富かよ子・橋本恵美子　岸田さん、故郷想えば改憲はない！
福井利明　ﾌﾀﾀﾋﾞ ｱﾔﾏﾁﾖｸﾘｶｴｻｻｲ　ｹﾝﾎﾟｳｶｲｱｸﾊﾝﾀｲ
片柳孝夫　自分にとって、いのち、家族、憲法が何より大事
中村誠一　敵基地攻撃保有は憲法違反！！
まして核共有など！アベや維新は許せん！！
山本勉　どさくさ改憲有り？　平和と人権を主権者として守ろう
梅田勇次・梅田由紀子　憲法９条は世界に誇れるメッセージ
谷井利明　憲法をくらしに活かす！
髙田知惠子　憲法９条はプーチンを作らない！存在させない！
山城博治　憲法を護り、戦争国家への道を止めましょう！
橋爪洋之・橋爪邦子　現憲法前文の基本理念を忘れずに世界平和の実現をめざしましょう
鈴木聖幸　侵略が怖いからと言って、武力を増強すれば、かえって戦争を招く。
竹中一夫　弱いものイジメはやめて。
日高八重美・次男　日本を「戦争する国」に変えさせない！！
一瀬恵理　憲法はたからもの。みんなで活かす。みんなで守る。
儀間眞治　平和の党、提案型新党は戦争推進党に。
沖縄は捨石に反対だ。
樋口弘恵・畑山和則　平和憲法を守ることこそ、日本が国際社会に示す道です！！
高原伸夫・高原美智子　９条地球憲章の会でこの精神を世界に広げてゆきたいと考えています。
旦保立子　" 兵戈無用武器（戈）も兵隊も必要としない。まずそこから！！ "
鵜飼宏明　現実を憲法へ引き寄せる！
原田禎忠　紛争は武力で解決できないことを理想として宣言する世界に誇る憲法です。
石井あつみ　戦争は絶対してはいけない。
小野寺修子　今こそ日本国憲法の平和主義を世界に発信しよう！
関谷陽子　戦争しないさせないため９条守ろう！
塩野たつ子・塩野龍男　戦争止めよ！核兵器使うな！命を救え！九条の国から世界へ！！
竹本和義　明文改憲　断固阻止！
尾前恵　子どもたちの未来のために９条絶対守りたい！
内田民子　すべての戦争に反対します
北阪英一　核、原発なくても地球は回る
小泉信　核共有論粉砕せよ！！
阿部桂子・阿部嘉明　平和は美しい。
町田程子　ストップ！改憲　今声を上げなければ取り返しのつかないことになります！
大谷内大樹・大谷内詩織　ウクライナがきっかけで改憲は危険！憲法を守るべきだ！
小林碧水・小林聖子　地獄絵図またも描かすか元総理
富山素美　日本の今に、未来に生かしたい９条を！世界に広めよう９条の精神を！
大野建・大野恵子　９条を生かし戦争のない平和な世界をめざそう！
生田千津子　声をあげよう！つながろう！平和のために！
森本レイ子　今こそ、ウクライナの現状を見て！武器では平和は創れない。
越智和彦　ヒロシマ・ナガサキを忘れないために。
牛島洋子・大地　戦争の訓練は絶対やめて！！
岡田良訓・鈴美　憲法を守り活かして、いのちくらしを守ろう
池田雄二　今日の世界情勢をみると憲法の大切さとりわけ９条の意義を確認し平和の大切さを日々かみしめたい。
岡田黎子　今こそ九条世界化を！覇者プーチン NO。ウクライナへの軍事支援 NO.
豊永恵三郎　修学旅行生に被爆体験の証言のおわりで９条の大切さを話しています。
田坂量慈・田坂千晶　ロシアによるウクライナ侵略も日本国憲法改悪も断じて許さない。
鵜飼礼子・鵜飼真一郎　軍備増強は軍拡競争を招くだけ。必要なのは憲法を生かす努力。
坂本久美子　殺し合いは絶対に駄目
金井英樹　廃絶へ！核も差別も戦争も！
篠原徹　憲法９条永遠に！そして世へ
國貞守男　"No　more War！　We love Peace！"
志岐玲子・麻利・由利　憲法は　わたしあなたを　守るもの　変えてはならぬ　活かし使おう
中村寛志・芦村貴美子　「戦争放棄」。この言葉の重みがウクライナの戦禍で重みを増した。
森山正博・森山聡子　日本国憲法を守り発展させましょう！戦争はダメです！
小平忠美　平和、平等　心の豊かな世界を！！
龍頭喜久雄　ジェンダー不平等や軍事費増額など問題外！まず、憲法の実行を！！
利元克己　戦争呼び込む核共有・敵基地攻撃
江崎勝之　侵略を口実にして改憲の異常さ示す自公維国が！
藤原立子　平和憲法を守り二度と戦争をしないように
平田弘子　戦争は殺人です。どんな生命も何ものにもかえられません。意見が違っても話し合い認めるべきです
鈴木敏男　プーチンの核兵器脅し、使用を許さない国際社会の団結力
川上八郎　核兵器も原発もいらない！
塩飽忠一・畑野定子　対話が大切！（畑野・塩飽）
海野三奈子　九条こそが最大最強の抑止力！！
川端栄子　憲法第九条の輝きは強く暖かい。決して消してはいけない光。
楠徳郎・楠真喜子・楠譲太郎　軍事費増大に反対します。軍事で平和はつくれません。
宮岡照彦　憲法９条堅持
大澤辰雄　軍事力で平和は守れない。
大西和典・大西佐智子　今でなく、未来を。私でなく、私の子ども達のために。ストップ改憲！
今井賢一　九条は戦争の芽を摘む為の必須条項

青柳靖美　平和憲法を守るため、みんなで声をあげよう。
行動をおこそう。
波多野和子　高校の修学旅行でヒロシマに行き資料館見学、
強く印象に残りました。私も尾張での９条の会
です。3年前２人の孫を連れヒロシマたずねました。
安田佳子　九条を世界に広めよう。
渡邊真臣・渡邊好子　ウクライナ問題に便乗した改憲運動
軍事大国化策動、断じて許さない。
池田金郎・池田昌栄　岡山の温羅うらじゃは美しい日本国
憲法が好きなんじゃ。
坂口隆信　日本国の形を変えるな！！
加藤浩道　戦争は犯罪です。
竹内俊一　戦争をしない国宣言の日本国憲法はすばらしい。
ロシアのウクライナ侵略を見て特にそう思う。
古川佳子　憲法９条は私のいのち、あなたのいのち、
そして美しい地球のいのち。
向井好美・向井健人　九条は未来への約束、守れ！
渡辺栄子　この灯火を消してはならない
奥田剛・奥田みどり・悠・慧　破綻した核抑止論を廃し、
今こそ真の平和を市民の手に取り戻そう！
鈴木進　憲法は国民の宝　改憲絶対反対
飯降聖子　憲法９条は日本の宝です。
吉田藤子・吉田弘　憲法の崇高な理想と目的達成のため、
声をあげ続けます。非核三原則は国是です。
菅原宣夫 戦争反対　９条守ろう！！
井上正弘　今年生まれる孫のためにも。
坂本文夫・裕子　平和憲法があぶない。皆で守りましょう。
雫陽子　平和な暮らしはだれもが望むあたりまえの日常。
九条の会・山県　九条堅持
城山大賢　どんなイデオロギーや正義よりもただ「殺すな」が至上
原郁夫・邦子　ウクライナ紛争の折、改憲・軍拡へ向かうことの
絶対ないことを願います。
土井由三　非核三原則は国是です。核共有は戦争への道、
論議も許せません。
生江邦光　平和憲法は変える必要なし
佐藤皇太郎　平和憲法で平和を守ろう！
江田吉友　憲法９条　戦争しません
松本優子　憲法９条が世界中に広まれば、戦争によって亡く
なる人はいない。私は国のために戦いたくない。
秋好素子　日本は平和憲法九条を守ろう。戦争は放棄し
ているはず、軍事費増大ではなく減らそう。
核兵器も原発もやめようと世界に発信しよう。
瀬尾徹志・瀬尾知佐子　憲法９条を世界基準にして、子ども
たちに平和な未来を
宮下圭介　９条２項がますます重要、交戦しないこと！
松井さとみ＆家族　原爆も　原発も　NO ！
沼澤栄一　歴史の過ちを繰り返さない為、改憲認めない！
山根敏英　" 武器によらない平和を！" 倉敷９条の会" は
毎金曜日夕方、倉敷駅頭にてスタンディングデモを行っています。
髙木美栄子　九条を守るのはあなた！　そして　わたし！
松田智　憲法９条は世界の宝である！
ムラカミ・マサヒロ　殺し合いはやめる！！
谷口正光・谷口羊子　平和な世を守りたいと願っています。
小玉有一　憲法第９条を生かした政治を！！
佐藤宏樹　プーチン政権に便乗した核共有はとんでもない
神田久　核なし、武器なし、戦争なき平和を　憲法改悪反対！
岩永昌子　戦争反対　武力反対
谷口八重子　やさしい目と耳と口でおもいやりの行動ができますように。
早船セツ子　第九条は日本の命綱です。世界の宝です。
石黒由佳　国民をだまさないで！憲法を誠実に遵守しよう
山崎修　憲法九条堅持　戦争反対
渕上慶子・佳英　９条を護って、戦争をしない、平和を守りましょう。
もりや９条の会　武力で平和は築けない。外交による
平和実現を　今こそ９条が旬
隅田康子　核シェアなどとんでもないことが、このロシア
侵攻で出てきてます。火事場どろぼうも甚だしい！絶対ダメ！
和木祐一　戦争とは人殺し、人の命を奪ってはいけない。
九条絶対死守。
鎌田清　ともに頑張りましょう
田口雅規・純子　こんな状況だからこそ、今この憲法を守らねば。
佐藤祐子・佐藤享子　殺さない。殺させない。殺されない政策を！！
軍備倍増は愚策なり。
高田由美　日米地位協定を廃棄せよ。国防長官オースティンは軍需
産業の取締役でミサイルをウクライナに供与して利益を上げ、
バイデンの息子は 2014 年にウクライナ大手ガス会社の取締役。
金川美津子・金川翔　九条を世界に
久世明子　個展で九条守っての立体展示してきました！
神田葉子　ダメ！ゼッタイ！
髙磨眞佐子　平凡な暮らしの為に第九条は大切ですネ！
澁川洋治　軍隊は住民を守らない。沖縄戦をくり返してはならない。
宮野誠司　平和のために９条を変えて軍事力を増強する考え
にどうしても納得がいかない。

**６月 ----------**

榎本扶美子　猫や犬が幸せな社会は人にも優しい、守ろう九条
松本和美　武力で平和は作れない
三宅正徳・三宅りつ子　平和憲法は人類の至宝！
平田仁士　第三次世界大戦を何としてでも止めよう。
谷代久恵　敵基地攻撃能力保有はもってのほか。
改憲断固反対。歴史に学べ！
やっちゃん　９条は民草守る世界平和の道標。
孫子へ手渡す我らの遺産なり
岸塚雅雄　ロシアの戦争を口実にした日本の軍備増強に反対
野口藤光　ロシアのウクライナ侵略戦争反対！！
石原清美・西山明美　世界の平和がくずれさろうとしています。
一人一人が平和を、憲法を考え、戦争しない国を。
中元寺俊幸　命を守ろう、そのために９条守ろう。戦争絶対反対！
山本健慈・市原悟子　いまこそヒロシマの声を世界に
有本珠寿子　戦争を始めさせない、巻きこまれないために
平和憲法を守りましょう。
大住三和・大住伸　力には力を！核には核を！という為政者を
阻む憲法九条は絶対必要。
酒井年男　戦争は反対です。
小林千恵美　平和はつくりだすもの
野田弘　憲法改正にウクライナ問題だけでなく、ウクラ
イナ侵略やイラク侵略も問題にしろ！
小出慶子　戦争の悲しい記憶の凡化と共に憲法九条の有難さ、
尊さが薄らいで、「非武装・中立」である事こそが
唯一平和をもたらすという認識を新たにすべきです。

久世明子　平和が何より！九条を守りましょう。大人の責任！
イイカゲンな政治屋から絶対に守ろう。
麦っ子畑保育園　広島、長崎、フクシマを経験した日本。憲法九条が
あったからこそ、かろうじて今があると思います。
河村あゆみ　対話による理解を。河村あゆみ（言語聴覚士）
白戸清　支援する各国に武器を求めるウクライナ！ 核と銃の社会を
変えようとしないアメリカ！ヒロシマの願うのはそのどちらでもない。
寺本三省　「力に力でなく」て９条生かした外交努力こそ、
未来的憲法で発信すべき。
森部聰子　二度と戦禍が起きないように！
松下智子　戦争に結びつく改憲絶対反対！！
栗田一郎　憲法前文は、２２世紀においても活用される先進
性をもっている。死守に値する。
ひろしま医療人・九条の会　人命を守る医師の社会的責任として、
私たちは歴史の教訓に学び、憲法の理念を体して平和を脅
かす動きに反対します。世話人代表　長谷憲
森下茂・鈴木多津子　ロシアのウクライナ侵攻を口実にした
改憲に反対しよう！
山口哲　人をあやめず身も差し出さない。参戦の引き金を引かさない
迫田重幸　すべての命と笑顔を守りたい！
坂田光永・坂田章子　日本をアジアのコスタリカに。
中本博光　被爆当時、キョウチクトウが赤々と咲いていたそうです。
おばはその記憶でキョウチクトウを嫌がっていました。（呉出身）
伊藤勝久　九条下で平和に暮らして来れたことほど幸せなことはない
増田俊道　国境や民族をこえた市民・労働者の連帯こそ平和を守る
内坂晃・内坂弘子　平和憲法があぶない。九条は２千万人もの
人々を殺害した日本の加害責任の表明でもあったのに。
大島博美　憲法前文と９条に基づく外交をすすめ、核廃絶を
はかり、軍拡など戦争の種をなくしていこう。
池原正敏　平和を一人ひとりの力をあわせて創り出しましょう。
こいけけいこ　A案　命を捨てさせられる平和はニセモノ・
死なない死なせない政治を。B案　攻められる国攻める国
どっちも大本営発表。のるな！のせられるな！
米光裕子　９条を守るためのテレビコマーシャルしませんか？
中西巌　軍事費２％トンデモナイ！子ども、学生、生活に
困っている人全員にしっかりとサポートを！
藤岡惇・芳子　サイバー核戦争！改憲日本の末路です。
山今彰　軍事費拡大よりも生活支援の拡大を、社会福祉の充実を。
松井久治・昌重　憲法９条こそ日本の生きる道ヒロシマの役目
小林七生　非武装中立
浅賀きみ江　核廃絶、９条堅持は日本国市民のプライド！
岩﨑學　軍備増強反対、正義の戦争はあり得ない！
和木宏　何がなんでも平和が第一ですネ。
武田正勝・武田洋子　地上での戦争はいやだ
大野てるよ　今こそ憲法前文と９条を活用し、一刻も早く停戦へ
三谷雅子　どこまで軍備を拡張すれば安心できると思いますか？
安井さよ子・安井俊夫　ウクライナへのロシア侵略は許せない。
伊藤元久・伊藤匡輝　過ちは二度と繰り返しませんから
坂口晴一郎・坂口純子・健太郎・郁奈・煌太・輝莉
"No　More　Hiroshima"
髙磨眞佐子　すべての人から飢え・恐怖・貧困を０！
渡辺美智子　広島の自民党議員総理の体たらくぶりに失望。
広島がまず模範を示して下さることを切に望みます。（80才）

河原友子・辻本佳延・岡本幸子　何よりも世界の平和を願う。
日本は軍備拡大はしないで！
関口耀子　憲法九条を守る！
大矢映美　自由や人権を守るタメに犠牲になっていい
「いのち」なんてひとつもないと思います。
牛島忠夫　最高裁裁判官は 70 才定年。
選挙では 70 才以上の候補者にノーを！
三原憲法朗読会　世界の全ての子どもに「９条」を！
森和恵・須賀光子　「戦争の放棄」第９条条文は私の輝く太陽
森隆子　「戦争の放棄」第９条条文は人類の平和の証
小川家子　改憲４項目に反対
加藤徹夫　「核」絶対否定は人類の道しるべ
調和晃麿　軍隊や兵器で人命を護ることはありえない。
命をふみにじり、国を滅亡させるだけ。
皿海達哉　大人の戦争で子どもたちを泣かせるな！
西明雄　憲法を変え、戦争をして貴方に何か得する物がありますか？
台湾有事となれば沖縄は又捨て石だ。断固拒否する！
笠松桂子　憲法を守ってきた戦後日本の努力の積み重ね
を壊してはいけない
杉田尋子　戦争の悲惨さを知っている人が亡くなってい
ますが、くりかえしてはいけません
柏村セツ子　９条は世界の宝
西川恵子　憲法９条を世界に！
上椙輝之　平和憲法を生活の中で実践し、戦争のない世
界をつくりましょう
樋口明日香　正当な戦争なんてない。戦争を始めるのは為政
者で災厄を被るのは国民。憲法 53 条（国会開催条件）
も守れないのに　憲法改正の資格はない。命が大事。
平和がこの国から去らないように
斎藤義夫　多大な犠牲を内外に受けて得た平和憲法を、
何としても守らねばと思います。
鈴木勉　暴力の連鎖を断ち切るために。
大西五己　今こそ日本国憲法の重要性を知ろう！
佐藤純子　防衛力強化でなく外交力強化を！
大野芳　人類に核兵器はいりません。
KU９条の会　核兵器禁止条約に日本は、率先的加盟すべき
鈴木康紀　憲法改悪絶対反対。教育費を十兆円増額し、
脱原発型社会の形成を。
吉永愛子　権力の暴走には九ブレーキ！
富田昭生　平和のため国連を改革しよう
三島弘敬　憲法を守らない政権の改憲は恐ろしい。
鈴木美香　外交は最強の防えい力です。
岩本恵子　何が何でも命を守ることを最優先し、戦いを
やめるよう伝える方法を考えよう。
阿部めぐみ　戦時の国とは政権のこと、国のために死ぬな、
国のために殺すな。
光延典子　ウクライナに平和を、日本に軍隊はいらない！
ポチ　憲法を活かそう！
川端春代・山下浩一・山下夏生　憲法九条を生かし、自分、
自衛隊員、世界中の人の命と平和を守ろう。
小野邦英　現・日本国憲法死守
別木由枝　想像を思いきりふくらませて！平和はみんなの願い
島根飯南・はとぽっぽの会　平和はみんなの願い

高崎孝子　武力で平和が守れるでしょうか
松村知暁　九条を全世界に！反戦・反核・反原発！
紺田亮・かおり　武器ではなく笑顔と花を咲かせましょう
大江宏　軍備費を増やしても誰が兵器を使うのですか。
「国民総動員」はごめんです。
黒田裕二　憲法改正反対　戦争につながる改正を許してはいけない
上山耕平　核は戦争を止めない　核が戦争を招く
伊藤忠志　食べ物も　日用品も　何もかも　他国に依存　戦争するの
植山文雄　人類が起こした戦争によって、植物･動物の生命奪うな！
内藤和雄　武力で平和はつかめない
鈴木捷彰　がんこに平和！くらしが一番！
平和憲法を後世に残すため全力だ！ 79 才。
栗城理一　ウクライナをアベ改憲のだしに使うな！平和憲法守れ！
明日村希　今が明日をつくる。
平野晶男　原爆を落とされたのは広島・長崎で、落としたのは米国ですが、落とさせたのは日本（国）です。
井土洋子　非核三原則を守って下さい。軍事費増額大反対
橋本志保子　憲法を守らない奴等（政権側）が改憲なんて。
地味なことをコツコツ持続

**7月 ----------**

萬宮千鶴子・萬宮翔平　蝶が飛ぶ、蝉が鳴く、朝露がひかる、私はわたしの空の下を歩く、ゆだんして生きている。壊すな。
堀越昭子　国は人を殺すより人を生かすもの！
土村泉　政治家は戦場に行かない！
井川和重　NO WAR ！　NO NUKES ！
SAVE ARTICLE 9 OF JAPAN CONSTITUTION！
篠原旭　９条は日本だけの９条ではありません。今こそ、世界の９条の実現にむけて活動すべき時。
宮本克己　被爆ー９条ー反核は三位一体です
関根世志子　各国のリーダーは是非、広島へ来て下さい。
宮澤玲子　" 禁止から廃絶へ核のない世界を！ "
山下由美子　いつもポケットに九条を！
岡本剛　どんな名前であれ戦争はダメ、話し合いで解決するのが人間の知性。
東浦孝次　「改革」の名の許のウソ、ごまかし、謀りはやめよ！みんな正体を見破っているゾ！
川面宏美　これからもずっーと九条を！！
久世裕子　核国も何敗？戦争にもなれない！何にもなれない。平和に手を出させるな！
小笠原靖・潤子　みんなで共生民主主義を！！
藤井桂子　憲法九条を世界に拡大しよう。
藤井孟　日本人は国境を越えて、武器を持たない。
三芳英教　第２のウクライナにならないために、積極的非武装中立を守るぞ！
国富建治・国富泰子　ウクライナに平和を！九条守ろう！
今こそ核兵器禁止条約の批准を！
松本文化　日本の武器は憲法九条です
岩戸弘　平和が一番
内藤訓治　九条改憲阻止　みんなで頑張ろう！
竹腰英樹　今こそ平和！共同で未来を！！
山口広　９条は世界の宝　無くしたらアカン！
船田美幸　軍事力を増す前に外交力を増せ！
大澤隆　憲法の改悪を許さない・差別を許さない
栗原君子・基次・雅美・新藤愛佳・雅葵　ウクライナ情勢に絡め日本の核武装まで口走る者が増大する。
平和は平和外交のみで守れる！
藤澤宜史　九条と共に生きる
磯幸子　日本の誇り「第九条」を守ろう！
佐藤節男　対話外交で戦争を絶対阻止しましょう。
宗近弘武　軍拡は、緊張を高め、戦争を引きおこします。
戦争廃絶・核廃絶の９条のみが日本を救います。
甲斐高之・甲斐由紀子　子どもたちの笑顔をつないでいこう。
吉田邦子・吉田信夫・千葉和子　この活動が限りなく続き、成果を手にする日を待ち望んでいます。
藤江徹司　日和るな　立憲民主！
根本准子　９条のオーラをまとって行こう！
木安茜・木安純　原爆忘れません　改憲ダメ！
末友雅子　世界中のどこにも二度と被爆者を作らない！
土井登美江　民主主義へのあくなき努力、反核、平和が未来を開く
板井八重子　核兵器禁止条約の批准国がさらに拡がりますように。日本が不参加では橋渡しになれない。
佐藤正八　日本平和の党を創設し、大きく発展させよう
田渕英久　九条は世界の宝
村尾知恵子・村尾望　核兵器禁止条約に批准しない日本にはもうウンザリ。戦前に戻るのは許してはなりません！
小山善生　人の命に対する感覚が壊されて来ました。
国の名のもとに。とても怖いです。
西村陽子・直子　ガンバレ九条！
内海博文・内海栄子　no more war
髙嶋伸欣・道　今こそ九条を活かすことが平和を創る！
藤井洋文　暴力で意見を押しつけてはいけない。今こそ憲法を生かした社会にしよう！
栗岡成人　憲法九条を生かし武力によらず戦争を止めよう！
寺島正一　ネットへ移行、世代交代を。小異捨て大同にて結集を。
毛利勇二　九条は世界の宝。
河合成一　がんばりましょう　貧者の一灯です。
西川啓子・根本博　重要土地規制法廃止！９月施行やめろ！
吉野健二・登喜子　平和憲法を支持し、改憲に反対します。
大野兼嗣・大野静音　キキ的状況です。自民党に勝手なことをさせないためにがんばりましょう。平和な国であれ憲法壊すな！
高田由美　自民党改悪草案（＝明治憲法）と土地規制法（現代の治安維持法）に強く抗議し反対します。
石田弥生　軍事ではなく教育や医療福祉に予算が使われますように
栗林成次　九条亡くすと窮状産まれる
山田薫　憲法改悪反対、市民と野党の共闘で日本の宝、平和憲法を守ろう。
中村信義　キナ臭い社会、ふりはらいたいですね
高力英夫　武力でなく話し合いの平和実現を。
大知輝夫・大知純子　憲法９条は生命の希望です。
力を合わせて守りぬきましょう。
河内理恵　平和憲法を次世代にひきつぎたい
伊東みさを　平和憲法は希望の光！！
千葉利江　この国を嘘で固めたあの男が英雄に…
怒りが重なる 2022 年の夏

**8月 ----------**

伊藤和美　憲法９条を死守しよう

7：45 グラウンド・ゼロのつどい

## 8月6日ヒロシマ　市民の行動

8：30 広島デモ

原爆ドーム前　→

広島市の真ん中
紙屋町交差点の
電車通り横断！

→ 中国電力本社前

8:15 追悼のダイ・イン

脱原発座り込み行動（中国電力本社前）

## 活動報告（第九条の会ヒロシマほか　関連団体、実行委員会含む）

6 月　15 日（水）　第九条の会ヒロシマ 8.6 新聞意見広告チラシ発送作業　国際会議場 3 F 研 2　13 時～
17 日（金）　ピースリンク広島・呉・岩国　呉駅前街宣　＆　例会
19 日（日）　伊藤真講演会　（広島弁護士会主催）
20 日（月）　ヒロシマ総がかり行動世話人会　Zoom　18 時～
23 日（木）　沖縄「慰霊の日」広島集会 18 時～ 原爆ドーム対岸河川敷
28 日（火）　中国電力株主総会　＆　中電前行動　9 時～　12 時半
30 日（木）　本郷産廃差し止め裁判　地裁前 14 時半 判決後　報告会

7 月　1 日（金）　第九条の会ヒロシマ世話人会　国際会議場研 14 時～ 17 時半
「１の日行動」ミャンマーをわすれないで！　本通り電停前 15 時～
6 日（水）　「慰安婦」ネット水曜行動　12 時～　本通り電停前
8 日（金）　第九条の会ヒロシマ世話人会 国際会議場 3F 研修室 14 時～ 16 時半
13 日（水）　広島と沖縄をむすぶ ドゥシグヮー例会　17 時半～
15 日（金）　第九条の会ヒロシマ世話人会 国際会議場研　14 時～ 16 時半
20 日（水）　上関原発止めよう！広島ネットワーク　中電本社前行動　12 時～ 13 時
第九条の会ヒロシマ名簿整理 1　　国際会議場 3F 研修室　13 時～ 17 時
22 日（金）　第九条の会ヒロシマ名簿整理 2　　国際会議場 3F 研修室　13 時～ 16 時
24 日（日）　第 5 回共生フォーラム「多文化共生社会の内実を問う」　14 時半～　留
25 日（月）　8.6 新聞意見広告紙面校正 1 広島市民交流プラザ会議室
26 日（火）　8.6 新聞意見広告紙面校正 2 国際会議場 3 F 研修室 2
31 日（日）　許すな！憲法改悪・市民運動全国交流会 in 大阪 10 時～17 時

8 月　1 日（月）　「1 の日行動」ミャンマーをわすれないで！本通電停前
3 日（水）　「慰安婦」ネット水曜行動　12 時～　本通り電停前
5 日（金）　8.6 ヒロシマ平和へのつどい（市民交流プラザ）
6 日（土）　8.6 新聞意見広告掲載　朝日新聞・中国新聞朝刊
8.6 グラウンド・ゼロのつどい、ダイ・イン（原爆ドーム前）
8.6 広島デモ、脱原発座り込み行動（中国電力本社前）
HANWA 反核の夕べ 平岡敬講演 広島弁護士会館 14 時
9 日（火）　8.6 新聞意見広告カラー版発送　13 時～　広島市民交流プラザ 3 F
19 日（木）　第九条の会ヒロシマ世話人会　14 時～　広島国際会議場 3 F 研修室
20 日（土）　第 25 回戦争遺跡保存全国シンポジウム広島大会　全体会（青少年センター）13:00 ～
21 日（日）　上記：分科会（青少年センター）　　22 日（月）：上記　現地見学会　B　呉コース
24 日（水）　広島と沖縄をむすぶ ドゥシグヮー　例会　17 時半～
ヒロシマ総がかり行動世話人会　18 時～　Zoom
28 日（日）　条例制定ネット第 3 回学習会「朝鮮学校の歴史と現状そして条例制定について」13 時半～　広島市西区地域福祉センター

9 月　2 日（金）　ピースリンク広島・呉・岩国　呉駅前街宣　＆　例会
3 日（土）　夏の講演会「艦載機訓練基地予定の馬毛島は今」 14 時～　廿日市商工保健会館交流プラザホール
4 日（日）　「日本軍『慰安婦』被害女性たちの願いを未来に活かす」シンポジウム　弁護士会館＋オンライン
5 日（月）　第九条の会ヒロシマ会報 114 号発送作業　　広島市民交流プラザ 3 F 会議室

中電本社前で
原発反対訴え
市民グループ

中国電力の株主総会があった28日、原発に反対する市民グループ約20人が広島市中区の中電本社前で抗議活動をした。上関原発（山口県上関町）の計画を白紙にし、島根原発2号機（松江市）の再稼働をやめるよう訴えた。

メンバーは広島に加え、山口、島根県からも参加した。「原発絶対反対」と書いた横断幕や「原発やめて美しい海を守ろう！」と記したカードを持って、株主総会の出席者や歩行者たちにアピールした。

島根県知事が再稼働に同意した島根原発2号機については避難計画や放射性廃棄物の処理を問題視し「再稼働せずそのまま廃炉へ」と主張した。29日で町が誘致を表明して40年となる上関原発は、予定地対岸の祝島を中心に反対運動が根強い現状に触れ「中電は祝島

中電本社前で原発反対を訴える市民グループ

中国新聞 6.29

「慰安婦」ネット水曜行動

## お知らせ

コロナ感染状況によっては集会は、中止、急遽延期、オンライン等形態が変わったり、人数制限を行う場合があります。ML・SNS などでお知らせがあると思いますが、お届けできない場合もありますので、連絡先までお問合せください。
主催者も参加者も、検温、密を避け、換気に気をつけ、可能ならマスクを着用しましょう。発熱など体調に不安のある方は参加をご遠慮くださいますよう、お願いいたします。

**◆ドキュメンタリー映画「風の記憶」上映会　→延期**

~~9 月 7 日（水）18 時半～~~　原爆資料館会議室 2
参加費：無料　カンパ歓迎
主催：広島と沖縄をむすぶ ドゥシグヴァー
連絡先；090-3373-5083( 新田 )

**◆第 16 回個個からカフェ** - 不安なく違っていられる社会へ
**あした　夫婦同姓・別姓「選べる」になあれ**
**9 月 24 日** ( 土 )14:30 ～ 16:30 ハチドリ舎 オンライン有
広島市中区土橋 2-43 光花ビル 201
おはなし：恩地いづみさん ( 第二次別姓訴訟 @ 広島原告 )
榊原富士子さん ( 第二次夫婦別姓訴訟弁護団長 /WEB)
二宮 周平さん（立命館大学 名誉教授）
会場参加　500 円 ( ワンドリンクつき ) Live 配信 無料　投げ銭歓迎
投げ銭先　01380-2-108024 加入者名 : 恩地いづみ
申し込み先　onji.i@nifty.com( 会場 or オンライン明記 )
主催：第二次別姓訴訟広島

**◆九条の会・はつかいち総会　&　記念講演会**
九条を守るためにどう闘うか ( 仮 )
**10 月 1 日** ( 土 )　14:15-16:30
廿日市市市民活動センター　第 1 研修室
講師：石口俊一弁護士　　参加費：500 円
主催：九条の会・はつかいち　連絡：090-3373-5083( 新田 )

**◆日本軍「慰安婦」問題解決・水曜街頭行動**
毎月第一水曜日 10/5・11/2・12/7 12 時～13 時
場所：広島市内　本通り電停前
内容：リレートーク・スタンディング・『岩のように』歌と踊り
連絡先：090-3632-1410（土井）
主催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク

**◆和解を導いた力 Part2**
**ー西松建設裁判原告・邵義誠さんの闘いをふりかえる**
**10 月 22 日**（土）14：00 ～ 16：30　広島弁護士会館
参加費：500 円

**◆第5回中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い**
**10 月 23 日**（日）13：30 ～ 14：30　　参加費：無料
安芸太田町坪野 安野発電所「安野中国人受難之碑」の前
主催：広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会
連絡先：080－3880－8340

**◆10.26 反「原発の日」中電前行動**
10月26日（火）12：00～13：00　中国電力本社前
スピーチ、詩の朗読、歌など予定
主催：上関原発止めよう！広島ネットワーク
連絡先：090-7548-6558（溝田）

**◆外国人住民基本法の制定を求める全国キャンペーン 2022in 広島**
**講演「超高齢化社会日本と外国人の包摂」**
**10 月 30 日**（日）午後 3 時～ 5 時
講師：岩下康子さん（広島文教大学、スクラムユニオン・ひろしま）
主催：外国人住民との共生を実現する広島キリスト者連絡協議会
連絡先：090-3632-1410( 土井 )

**◆第 13 回共生フォーラムセミナー**
**「多文化共生と差別禁止条例について考える」**
**11 月 13 日**（日）14:30 ～ 16:30　　西区地域福祉センター
（録画によるオンライン配信あり）
参加資料代：500 円（正会員、大学生以下無料）
連絡先：電話 070-3771-9235　申し込み不要
Email kyosei.fh@gmail.com mailto:kyosei.fh@gmail.com
主催：共生フォーラムひろしま　後援：広島市・広島市教育委員会

**◆「ノーモア―沖縄戦　命どぅ宝」広島のつどい**
**～進む琉球弧の島々（南西諸島）の軍事要塞化～**
**11 月 19 日**（土）18 時～　　原爆資料館会議室 1
講師：山城博治さん　参加費：無料　カンパ歓迎
主催：広島と沖縄をむすぶ ドゥシグヴァー
連絡先；090-3373-5083( 新田 )

**◆女性に対する暴力撤廃国際デー**
**～キャンドルアクション in ひろしま～**
**11 月 25 日**（金）17：30 ～ 18：30　原爆ドーム東
連絡先：090-3632-1410（土井）
主催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク

事務局から

**2022 年の会費・カンパをお願いしま～す！**

- 8.6 意見広告 22 が掲載できました。ご賛同くださった皆さん有難うございました。皆さんと共に岸田政権の大軍拡、改憲に立ち向かいたいと思います。応援をよろしくお願いします。
- この会報印刷発送費のみ残し意見広告に全部つぎ込みました。22 年度会費がまだの方は、ご支援をお願い出来れば幸いです。
- 他行からの振込みの場合、郵貯銀行店番：**五一八**が必要です。タックシールに皆さまの入金状況を記載しておりますが、間違いがあれば、遠慮なくご連絡くださいますように。

後記

- 今号は 8.6 意見広告報告や感想・意見、メッセージなどの特集みたい。仲間がたくさんって嬉しい。ただ、そのため毎号書いて頂く原稿がなくて残念、次号はぜひ!!
- ウクライナのザポリージャ原発は大丈夫か。本当に心配。
- 右の蝶のイラストは、8.6 新聞意見広告紙面制作者の石岡真由海さんが載せられた「海を越える」蝶アサギマダラです。9 条が国境を越えていくことを願って…不可能ではない。戦争放棄したり、常備軍を持たない国は既に存在しているし。